

# NACCSプログラム変更要望一覧（2022年度分）（その他案件）

※グレーにハイライトは重複案件

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-001	貨物	-	複数ログイン可能	保税蔵置場毎にログインを行っている	複数の保税蔵置場にログインできるようにして頂きたい。（複数のNACCS画面で処理できるようにして頂きたい）	複数の保税蔵置場の内容を同時に確認する為。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-002	貨物	ACH11	ACH11画面展開時、日本到着日が世界標準時間基準で前日となる便についても、到着年月日欄に年月日が自動反映するように設定していただきたい。	便到着後、事前送信されたMAWB/HAWBデータと、到着した貨物書類との照合確認を行う（IAF11, IAF12とAWBの内容を照合し確認する）。その後、確認した内容に基づき加筆修正した情報でAWB登録するためにACH11画面を展開するが、日本時間に対し世界標準時間では前日の日付で到着する便について、年月日が自動反映されないため、手入力しなければならない。 例) ○○/SIN-FUK 到着時間 日本時間 5月5日午前8:20 世界標準時間 5月4日23:20 上記FLTの場合、ACH11画面展開時 到着年月日欄が空欄となっている。	ACH11画面展開時、運航日が日本時間に対して世界標準時間基準で前日到着となる便についても、到着年月日が自動反映するように設定していただきたい。	手入力での作業がなくなり、作業効率向上および誤入力防止効果が見込まれる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-003	貨物	ACL01	"_"入力できるようにしてほしい	アタッチシートなどマニュアル対応	メールアドレスの入力必須の機会が増え、"_"の使用頻度が多くなった		第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-004	貨物	ACL01	禁止文字であるアンダーバー( )を入力可能に	_(アンダーバー)を入力するとエラーになる	アンダーバーを禁止文字から外してほしい	メールアドレスで使用頻度が結構ある	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-005	貨物	ACL01	ACL個数・重量のチェック機能	同じ個数・重量・数量を複数入力する欄があるが、入力が異なってもそのまま通ってしまう	同じ個数・重量・数量を入力すべき場面であるので、 ①異なる数値を入力した場合にエラーとなる ②自動的に反映するようにしていただきたい。	入力項目が多く入力・チェックに困難を極める。（ACLではなくB/L DRAFTに直接入力して提出したこともある）同じ数値を入力しなければならない項目のチェック機能が働けば、些細なミスでカット後に作業しなければならない事例も減り、船会社・通関業者ともに生産性の向上につながると思います。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-006	貨物	ACL01	ACL画面の平面化	一業務でスクロールすべき画面が多い。	複数画面をスクロールしながら入力するのではなく、IDAやEDAのように、タブに分けていただくなど一画面表示を希望します。	一画面上でスクロールしなければ入力箇所が出てこない項目が多く、入力漏れが多発する。画面構造が複雑な為、入力者が混乱したり引継ぎの際に困難を極める。画面構造がわかりやすくなれば送信後にミスが発覚する事故も減り、ペーパーレスにも対応しやすくなります。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-007	貨物	ACL01	ACL送信時の禁止文字送信不可を送信可にしたい。アンダーバー	ACL送信時にE-MAILアドレスにアンダーバーを使用している場合、送信時にはブランクで送信し個々に船社/代理店へ追記依頼をしている。	E-MAILアドレスではアンダーバーを使用している案件が多いため送信可として文字を識別してほしい。	アンダーバーは使用頻度が高く、ACL送信とは別に船社、代理店に連絡を入れないといけない為、漏れの可能性もあり、訂正頻度を減らすため。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-008	貨物	ACL01	使用禁止文字=半角カタカナ、\$、[、]、^、_、などがあるが"_"(アンダーバー)は、メールアドレスで、頻繁に使われている為禁止文字より、除外してほしい	入力が出来ない。 使用禁止文字"_"(アンダーバー)が含まれるメールアドレスは代理店に都度、訂正依頼をしている。	使用禁止文字"_"(アンダーバー)は、禁止文字の対象外として欲しい（7次NACCS変更されますが6次NACCSでの改変を希望します）	都度依頼は、工数がかかるうえ間違いの元である。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-009	貨物	ACL01	ACL情報登録(コンテナ船用)の入力画面で、積載予定船舶は船舶コードのみの表示だが、本船名も確認出来るようにしてほしい	本船名は、ACL送信後に確認できるが、登録時は確認出来ない	情報登録の画面でも、本船名が確認出来る仕様にして欲しい	コードではなく、本船名として、確認出来ると間違い防止になる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-010	貨物	ACL01	禁止文字を使用可	__ (アンダーバー) 禁止	_ (アンダーバー) 使用可	諸外国のルールによりコンサイニー欄に Email Addressを記載しなければならないケースが増えてきたため	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-015	貨物	ACL01, ACL11	荷姿コード「PP」の表示内容の変更	荷姿コード「PP」はPALLET & PACKAGEと表示される。 通関業者によるACL作成時若しくは船社、NVOCCによるBL作成時にPALLETと修正している	荷姿コード「PP」の表示内容はPALLET&PACKAGEとなっているが、PACKAGEは荷姿コード「PK」が有るので、「PP」の表示内容はPALLETのみにして欲しい。	<理由>荷姿コード「PP」の表示内容はPALLET&PACKAGEとなっている為に通関業者によるACL作成時若しくは船社、NVOCCによるBL作成時にPALLETに修正しなければならない。 BL作成時に見過ごされてBL訂正も発生している。 <効果>荷姿コード「PP」の表示内容をPALLETのみすることで、ACL作成時及びBL作成時の修正作業が削減され、修正漏れによるBL訂正も減少する	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R03-016	貨物	ACL02	外部データを使用して仮送信した後、再度同データを開くと入力したグロス容積が消えている。	外部データを使用して送信した後、再度同データを開くと入力したグロス容積が消えている。	ACL02の共通部2、グロス容積を外部ファイルを使用して送信しても入力したグロス容積が反映されるようにしていただきたいです。	ACL仮登録後、毎回毎回 共通部2のグロス容積に容積を手入力せず済むので入力ミスが減る効果が見込まれます。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R03-017	貨物	ADM・HDM・EAW・EPK	帳票出力 (ADM・HDM・EAW・EPK)	<毎日使用> 業務登録後、自動で帳票が出力される。	<保税蔵置場> 業務登録後の帳票出力について、閲覧のみで支障がない業務については入力者にて設定可能としたい。	排出用紙の抑制。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R03-023	貨物	BOC	BOCで貨物を全量搬出する場合、重量に対してはガードがかからず、重量を間違えて登録することができてしまう。分割してBOCを行う時ではなく、個数で全量搬出が確認できる場合は、重量はblankで送信すると当初重量を呼び出せる仕様や、重量が不一致の場合はエラーで送信できない仕様に変更してほしい。	BOCは貨物重量に対して、ガードがかからない	BOCで貨物を全量搬出する場合、重量に対してはガードがかからず、重量を間違えて登録することができてしまう。分割してBOCを行う時ではなく、個数で全量搬出が確認できる場合は、重量はblankで送信すると当初重量を呼び出せる仕様や、重量が不一致の場合はエラーで送信できない仕様に変更してほしい。	適切な保税管理。変更業務工数の削減。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-031	貨物	CAI01	CAI保留が出ないようにしてほしい	CAI保留がでると保税にて解除してもら	CAI保留が出ないようにしてほしい	保税まで行く必要がなくなる。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R03-041	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の「9」の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があった場合エラーとして送不可とすること変更希望。	DORした際に、Yを入力しなくてもデータ送信可能。(エラーにならない。)	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の「9」の登録で、DORの時にICG表示にYが入力されていない行があった場合エラーとして送不可とすること変更希望。	DORがされているにも関わらず、「Y」表示が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-042	貨物	DOR	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の「9」の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送不可とすること変更希望(必須入力箇所とする)	通知先空欄でもデータ送信可能。(Yは表示されるが、ターミナルに通知されない?)	DOR 輸入貨物荷渡情報登録の画面の「9」の登録で、通知先空欄の場合はエラーとして送不可とすること変更希望(必須入力箇所とする)	通知先が確認出来ないことによる貨物リリース不可を防げる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-043	貨物	DOR	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されること変更希望。 =船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	TOP画面の検索文字列からB/L検索して通知先を確認しているが、最新で行った業務コードが表示される為、ICGが表示された場合、再度、DORを探して確認している。ただし、送信者端末でのみ検索可能の為、DOR処理を行った担当者しか確認できない。	ICG【全体情報】の画面上に荷渡可能表示の隣に「通知先」も表示されること変更希望。 =船社IDをもつ人であれば誰でも閲覧可	・通知先を表示させることで確認作業の軽減、時間短縮 ・船社IDを持つメンバーが通知先を閲覧できることで処理担当者が不在でも処理状況確認可能	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-044	貨物	DOR	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可とすること変更希望。	DORした一画面ごとにBL件数を確認し、当日のDOR処理件数と手元書類の処理の一致を確認している。	処理した業務の詳細(処理区分・BL番号・通知先・ICG表示)をエクセルに一括ダウンロード可とすること変更希望。	担当者自身で認識しているBL処理件数との一致確認が容易になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-045	貨物	DOR	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るよう変更希望。	10件纏めて再DORを行う際、1BLずつBL No. 及び通知先を入力している。	BL No. 及び通知先等を、10件纏めてCopy&Past出来るよう変更希望。	入力・貼り付けミスの軽減。時間短縮。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-046	貨物	ECR	印刷プレビューにて払い出された貨物管理番号のコピー機能の追加	現在ECRを登録すると送信電文として受信されるが、印刷することが前提となっており貨物管理番号を受信結果からコピーできない。	印刷プレビューにて払い出されたECRの受信結果から貨物管理番号をコピーできる機能を追加して欲しい。	にEDB・ACL等へ展開する際に貨物管理番号をコピーできればペーパーレス化・リモートワーク化に対応しやすい為。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-048	貨物	EDC	輸出許可となった場合の出力情報出力先の見直し	輸出許可となった場合、許可・承認貨物（輸出）情報は、通関蔵置場所とバンニング場所へ出力される。また、通関蔵置場所兼バンニング場所には通関蔵置場所のみ出力される設定である。 通関業者が、バンニング場所に、保税地域コードを入力した場合、バンニングをした保税蔵置場へ帳票が出力され、保税用管理資料（G02）に反映しない帳票のみ出力されている。	バンニングである蔵置場では、保税上の記帳義務はなく、当該許可・承認貨物（輸出）情報を保存しないものと思いますので、輸出許可となった場合の出力情報出力先を、通関蔵置場所のみに見直して頂きたい。	保税貨物管理上、紙の出力がなくなり、適正に運用できる。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-049	貨物	EDC, EAC	ECRで登録された貨物重量とEDC, EAC等で申告・訂正した貨物重量が異なった場合、保税蔵置場では輸出許可書上の貨物重量が変更されたことが分からない。通関上で必要な重量訂正は保税上も必要な重量訂正の可能性も有り、当初申告や許可変更で重量を訂正した場合は、保税蔵置場やバンニング場所へ帳票を出力し、NACCSのECRの貨物重量を上書きできないか。	EDCやEACの貨物重量とECRの貨物重量が異なっても、ECRは上書きされない。	現行の仕様では許可書上で貨物重量を訂正するのみでは、ECRの貨物重量は上書きされないため保税地域では重量変更がわからない。些細な訂正であれば問題ないのだが、保税管理上BIF等が必要な重大な訂正の場合もあるので、ECRで上書きされた貨物重量でBOCやVANなどの後続業務を行いたい。	適切な保税管理。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-055	貨物	HCH	分割到着時のHCH入力	分割到着時、上屋側で先行HPK入力済みの際に到着便毎にHAWB情報を入力しなければならない。	上屋側において分割毎に到着便・数量等の情報を入力していることから、HCHは1回の入力と出来ないか	HCH入力の効率化、時間短縮	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-058	貨物	ICG	混載貨物のICG照会画面	照会画面に「FREE TIME」・「RE-MARK」が記事欄に記載されている。	照会画面に「FREE TIME」・「RE-MARK」を設けてほしい。	社内システムに展開させたい。	システムの仕様上変更は不可
R03-059	貨物	ICG	税関手続き進捗状況がわかる様にしてほしい	現在は申告種別、申告番号、申告日、審査終了日、許可日のみ	I AWと同様に、申告時間、許可時間等を時間単位にて進捗状況を知りたい	申告時間、許可時間が早いか遅いかの判断基準がわからない。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-062	貨物	ICG	税関手続き進捗状況がわかる様にしてほしい	現在は申告種別、申告番号、申告日、審査終了日、許可日のみ	I AWと同様に、申告時間、許可時間等を時間単位にて進捗状況を知りたい	申告時間、許可時間が早いか遅いかの判断基準がわからない。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-064	貨物	ICG	以前も記入したが、業務リンクから変更画面へのリンクをお願いしたい。	業務リンクは参照画面が主。	例えば許可承認番号より「SOT」画面へのリンクがあれば活用の幅が広がる。	作業の軽減、効率を上げるため。また誤入力などを防止。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-065	貨物	ICG	ICG画面でも「荷渡地」を表示していただきたい。	船卸港の表示はあるが、荷渡地の表記はない。	例えば、船卸港がTYO・荷渡地がYOKの場合、ICGでは船卸港のTYOのみ反映されているので、荷渡地をすぐに確認できない。（CMF11やCMF12で確認している）	作業の軽減、効率を上げるため。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-066	貨物	ICG TTL	貨物情報にコンテナサイズの記載を入れてほしい。	貨物情報にコンテナサイズの記載がない。	貨物の詳細を知りたい。	貨物情報を見た時に、貨物の特徴が分かるから。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-069	貨物	ICN	コンテナ番号の情報に貨物管理番号も載せてほしい。	コンテナ番号（ICN）の情報に貨物管理番号の記載がない。	コンテナ番号（ICN）の情報に貨物管理番号が乗せてあれば、業務上便利だと思う。	スマートに業務をこなすことが出来る。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-072	貨物	IM, BOA, BIA	蔵入承認後の貨物情報をシステム化	蔵入承認後の貨物情報が、システム外となる為、管理資料電文に反映されず、搬出・搬入業務及び保税台帳業務がマニュアル処理となる。	IDA(SID)の蔵入承認後、移入承認した貨物情報がマニュアル化される事なく、貨物情報を継続して使用できる事を要望	保税台帳記帳業務において、税関窓口での書面によるマニュアル処理等が不要となり、管理資料電文を使用した記帳業務を行う事ができる。	第7次NACCs更改において対応可否を検討
R03-075	貨物	IMI-C	空パンと実入りパンを区別、かつ本揚げ、仮陸揚げを区別して表示(抽出)出来るようにして欲しい。	船舶CODE、揚げ地で縛ると、現在は空/実の全てが表示され、ソートも不可能。	空パンにおいて、23>28(本揚げ>仮陸揚げ)へ変更する機会が多く、IMI-Cの画面で空パン、かつ仮陸揚げの本数を特化して確認したい。	誤登録防止、W-CHECK時の時短、効率UP. 右事象発生頻度：件数は11~100件/月としたが、コンテナ本数ベースでは101~1000本/月の発生頻度。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-076	貨物	IMI-T	包括削除をまとめて行えるようにしたい。	CMF11及びCMF12で呼び出して包括保税運送番号、運送具、到着地の保税地コードをマニュアルで消している。	IMI-Tの照会画面でチェックボックスを追加し、チェックを入れたものは包括保税運送番号等を消せるようにしたい。	1件ずつCMF11またはCMF12で呼び出す手間がなくなる。件数が多くても、一括で処理が出来る為、効率UP、作業時間、人員の削減となる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-085	貨物	LOA01	HCHが入力されているMAWBであっても、LOA01にてSPCコードの登録/削除出来るようにして頂きたい。	HCHが入力されているMAWBであれば、HCHを一度消して頂かないと、LOA01にてSPCコードの登録/削除が出来ない。	HCHが入力されているMAWBであっても、LOA01にてSPCコードの登録/削除出来るようにして頂きたい。	検査疑義貨物でHOLDしている貨物が、検査対象貨物と判明した場合に、LOA01にてSPCコードを登録する際に、MAWB上にHCHが入力されている場合は代理店へ一度HCHを削除依頼をしなければならず、弊社⇄代理店どちらにとっても手間となっている為。 LOA01でなくCA101 輸入貨物情報変更登録でも変更は可能であるが、必ずCAI保留となってしまう、NACCs変更願届を税関へ提出しなければならず、弊社⇄税関にてどちらにとっても手間になってしまう為。	第7次NACCs更改において対応可否を検討
R03-088	貨物	MSX	申告添付資料容量アップ	数年前に3MBから10MBに容量アップしており、通常の申告では問題ありませんが、減免税申告時、添付資料も多く、10MBにおさめるのが大変なケースがある。	10MB以上の容量アップは可能か。	減免税申告時、添付資料も多く、10MBにおさめるのが大変なケースがある。	第7次NACCs更改において対応可否を検討
R03-089	貨物	NVC01	「使用可能なコード入力」の対象となっている利用運送事業者コードの変更を受け付けていただきたい。	「使用可能なコード入力」となっており、ハウスB/L番号で登録するとエラーとなることから、先頭に登録済みコード加えて処理している。	登録済み利用運送事業者コードの変更を受け付けていただきたい。 登録済みコード：○○ 変更：XXX(SCACコード) *NMFTA：National Motor Freight Traffic Association (全米自動車貨物輸送協会) *SCAC：Standard Carrier Alpha Code (米国における運送会社識別コード)	ハウスB/L番号に手を加えることなく適正な処理ができる(情物一致のため必要)。 7. 発生の頻度は当社取扱い保税蔵置場での件数となります。	他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)
R03-090	貨物	OLC OLA	OLA, OLCの積込港のチェックは外してほしい	保税運送の積込港チェックがあるため、積込港を正しく入力できない、例えばシアトル発の釜山トランシップの貨物の場合、OLCの積込港はシアトルを入力したいが、船社のMFR登録の積込港が釜山なので釜山を入力しないとエラーになり、シアトルを入力できない。	OLCの積込港は貨物情報とのチェックがあり、船社のMFR登録の積込港と異なる場合、OLCでエラーになる。正しい積出港でOLC申請するためには、船社および搬入蔵置場で訂正業務を行う必要がある。輸入申告同様積込港のチェックはせず、OLT申請者側で積出港を自由に入力できるようにしてほしい	蔵置場や船会社に積込港の訂正を依頼することなく、正しい積出港でOLT申請できるようにする?	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-091	貨物	OLCなど	保税運送申告書の申告番号の表示を方法の改善	保税運送承認書に打出される申告番号は、11桁の数字がつながっているため目で確認する際に非常に見づらく間違えて確認することがある	保税運送申告書の申告番号の表示を輸出入許可書と同様の3-4-4の区切りで間にスペースを入れてもらえると非常に整理がしやすくなる。	通関業の台帳(保税運送)の作成や、輸入申告の際のOLT番号を入力する際の間違えも少なくなる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-097	貨物	VAC	VACにおいて複数コンテナを一括で削除する機能が欲しい。	VAE業務で複数登録したコンテナを一括で削除する業務がない。複数コンテナをVAEにおいて登録し、その後キャンセルとなった場合、登録は複数コンテナを同時にできるのに削除はVACをコンテナの数だけ繰り返さなければいけないのは極めて煩わしい。またVAN111において1コンテナにおいて複数の申告を紐づける場合もキャンセル時に申告の数だけVACを行わなければならないのは同様の理由で不便である。			他の機能や業務により対応可能(予定)であるもの(新たなプログラム変更は不要)

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-098	貨物	VAE	VAE入力時情報	VAE入力時に 船名 VOYAGE など ECR入力時と重なる情報がある為、ECR情報でVAE入力時に重なる部分は、反映されるようになれば良いと思います。			他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-101	貨物	すべて	印刷機能にPDF化を追加	紙印刷	PDFへファイルとして保存。ファイル名に社内管理番号を付けれるようにする。社内管理番号を付けると言うことはすべての帳票に対して社内管理番号の入力と印刷ができるようにして貰いたい	デジタル化の促進 ペーパーレス化の促進	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-102	貨物	すべて	全ての帳票にバーコードの印刷を行う事で現場作業等でのシステムへの入力を軽減する	帳票を見ながら各システムに管理番号で呼び出してデータやステータスを入力する	バーコード印刷 バーコードには社内管理番号とNACCS管理番号の情報をセット	紙で行われている現場作業のステータス管理等に利用できる。イメージは宅急便のステータス管理等のような業務の省力化	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-103	貨物	すべて	CyberPortシステムとの完全なデータ連携	部分的な連携はユーザーの負担となる	例えばNACCSの輸出VAN情報にCyberPortで必要な情報を網羅する事ではNACCSとCyberPortが連携してくれればユーザーは1回の作業ですべてが終わるような事を考えて貰いたい	港・空港の情報は一元管理できないとシステムが複雑になり、効率が悪くコストも増えていく。いつまでも「国民のことは国民で」と言っていると他国に遅れをとる	サイバーポートを含む各種プラットフォームの動向を見守りつつ必要に応じ議論を再開する
R03-104	貨物	現行なし	保税運送中に動物検疫を実施する際、保税蔵置場（CY）からの搬出停止を表示する（CYOできない設定）機能を新設	保税運送中に動物検疫を実施する際（OLT上は、検疫場所として経由地が記載されている）、保税運送を行う業者と動物検疫を申請している業者が別の場合、動物動物検疫を実施する前に保税運送を行う業者が搬出してしまった事例があった。 貨物は、横浜港揚げ、苫小牧港経由、札幌の保税蔵置場搬入の羊肉で、保税運送申告は、船会社の代理店が行い、代理店が手配した運送業者が、実際の運送を行った。動物検疫の申請、検査対応は当社が行い、経由する苫小牧港のCYで、検査等を受けることで、動物検疫の了解を得ていた。当社からは、保税運送を申請した代理店に苫小牧港で動物検疫を受けることとなっているため、動物検疫が終了するまで搬出しないよう連絡していたが、実際に運送する輸送業者には伝わっていなかったようであり、苫小牧のCYでは、特段、何もないので搬出（CYO）した。	保税運送中に動物検疫を含め、他法令の検査がある場合は、検査が終了し、合格証等の他法令の許可・承認書が発行されるまでは、税関のSTPのような差止表示ができるようにすれば、関連する業者が多い場合でも、誤った行為を防止できるようになるとと思われる。	NACCSでは、税関に関する申請等と貨物の動向はつながっているが、他法令については、申請のみの電子化で、実際の貨物の動向はマニュアルのままである事から発生したと考えられる。 他法令についても、貨物を差し止めるなどの業務がある事（他官庁が行う）により、誤った事態が発生しにくくなる。 かつ、関係先への連絡が、NACCSによりできることになり、かなりの省力化となる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-107	貨物		NACCSをMacでも使えるようにして欲しい。使えなくて大変困ってます。	Windowsのみしか使えないようになっていきます。	NACCSをMacでも使えるようにして欲しい。使えなくて大変困ってます。 利用登録まではMacでもできてデジタル証明書の取得ができません。 これだけMacユーザーから「MacでもNACCSを使えるようにして欲しい」という問い合わせが来ている中で、なぜ貿易という国の一大事業を背負っているNACCSセンターが、Macに対応するつもりがないのかさっぱりわかりません。早急に対応をお願いします。	コロナ禍における巣ごもり消費・在宅勤務の増加でEコマース事業はこれからますます拡大の方向に向かいます。メイドインジャパンは海外ユーザーから高い人気を誇っており、日本に旅行に行きたくても行けない海外観光客が日本製品を買うためにオンラインショップ（越境EC）を頻りに利用しています。人口減少、国内消費の鈍化で陰りを見せる小売業界を救う救世主として注目を浴びる越境EC事業は世界各国のIT企業がこぞって参画しているビジネスフィールドでもあります。この市場の高まりを逃す手はありません。IT企業はほとんどと言っていいほどMacユーザーです。 （そもそもWindows使っているの日本くらいなのでは？）そういったIT企業を始めとするMacユーザーに門戸を開くことによってますます日本の貿易事業は発展するでしょう。今はオンラインで貿易取引をする時代です。NACCSを利用できるOSに制限を設けるのは間違いなく貿易発展の阻害要因になりますので是非ともMacでもNACCSを使用できるようにプログラム変更をお願いいたします。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-108	貨物		COMPASとの連携	未定	全てのターミナルで、仕様、運用を統一する必要がある。	中途半端な運用だと、ケースバイケースで処理の方法が異なり、ユーザ負担、混乱を招くことになる	ご要望は国交省にお伝えする
R03-110	貨物		保税管理資料のユーザーへの自動配信	保税管理資料については毎週ユーザーが取出し業務を行い、保存している。	保税管理資料は毎週、システムからユーザー宛自動配信する方法に変更して欲しい。	保税管理資料の取得、保存もれが、即、税関から非違とされ処分対象となることから、自動配信により取得もれを防止でき、保税非違を減少させることができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-114	通関	(全業務) 特にIDA・EDAでお願いしたい。	ワーニング情報が出る場合、送信される前に確認したい。	NACCSには有益なワーニングが多数出ており、6次NACCS更改においてもワーニングの内容充実が図られている。 輸出入申告等は入力控作成者と審査担当者が異なり、ワーニング内容が伝達されない為、重大な非違・誤謬・申告撤回・取消の発生に繋がっている。	送信（申告）時にワーニングが出ても申告撤回や、取消業務が発生してしまう場合がある。 ワーニングが出る場合は、1回目の送信時に申告はされず、ワーニングのみ表示され『本当に申告しますか?』と確認のメッセージが表示され『はい』か『いいえ』で確認する仕様としてほしい。 また、ワーニングの内容を印字もしてほしい。	申告される前にワーニングが出れば、無用な取消・撤回業務も発生しない。また印字をすれば有益なワーニングを見逃したことによる申告時の非違・誤謬の発生を未然に防ぐ事ができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-115	通関	ACL01	禁則文字（特に“_”（アンダーバー））制限をなくしてほしい。	アンダーバーを含むメールアドレスをNOTIFY等にした時に必ずシステム外で訂正のやりとりをしている。船社によってはACL訂正にペナルティ（場合によっては別途費用が発生する）を課すところも増えており慎重な作業を要する業務でシステム起因により毎回訂正作業を行なうのは、ユーザー側にとって非常に大きなストレスとなっている。	禁則文字（特に“_”（アンダーバー））制限をなくしてほしい。	システム外で訂正のやりとりの削減。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-127	通関	DLI02	自社通関以外の申告情報呼び出し	修正申告の入力の際にDLI02業務で申告情報を呼び出すことができるのは自社通関分のみである	修正申告の入力の際にDLI02業務で他者通関分の申告情報を呼び出すことができるようにしてもらいたい	他社通関分の修正申告を入力する場合はすべての項目を入力するという手間がかからなくなる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-128	通関	DLI02	DLI02の仕様変更	複数件の当初申告を1件の修正申告に取り纏めて実施を希望されるケースが多いが、現行、一方をDLI02画面で展開し、他方は行コピー機能を用いて貼り付けていくしかない。	『当初輸入申告情報呼出し（修正申告）』において当初申告の情報を複数件呼出せる仕様に変更していただきたい。	一括修正申告の要望が多く、修正申告の入力作業が非常に手間取る。 複数件を同時に呼出すことが可能になれば作業効率が図れる。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-129	通関	DLI02	DLI02「当初輸入申告呼出し（修正申告）」業務の利用可能時間の拡大	DLI02「当初申告情報呼出し（修正申告）」依頼の登録により、システム内部で当初輸入申告情報呼出し処理が起動する仕様となっていて、10:00から18:45の間に10分間隔で行われ、18:45以降に登録した場合は、翌日に起動する仕様となっている。貨物の引取を急ぐ通常の輸入申告を優先する必要あり、修正申告に対応できる時間が18:45以降となってしまう、呼出し処理が翌日以降となってしまう場合が散見され、業務効率が低下する一因となっている。	例えば、9:00から20:00までの登録分について、当日の呼出し処理となる仕様への変更お願い致します。 （可能な範囲で、当日の呼出し処理となる時間を拡大お願い致します）	修正申告の業務効率向上につながり、波及効果として翌日の通常の輸入申告についても業務効率の向上（申告までの時間短縮）及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-133	通関	ECR11	ECR11 輸出者名再入力	法人番号と輸出者名が紐づいていない場合、ECR11を行うと輸出社名を再度入力する必要がある		再入力が必要になると業務効率が悪くなるため。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-136	通関	EDA	EDA業務におけるインボイス番号等の入力桁数の変更	NACCS EDA業務におけるインボイス番号等の入力欄は35桁しか入力出来ず、全て入力出来ないことが多々あります。	インボイス番号等の入力欄は35桁から50桁に変更して欲しい。	荷主が輸出許可書の管理がし易くなり、通関業者の適正申告にも繋がります。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-137	通関	EDA	仕入れ書価格の通貨欄に複数の通貨コードを入力可能にして欲しいです。	複数の通貨をそれぞれ円価に換算するか、どちらか一方の通貨に合わせて換算し税関記事欄に明細を記載している。	輸出申告入力控えを作成する際、複数の通貨コードを入力可能にして欲しい。	手計算で換算し仕入れ書価格を算出するより、機械で計算する方が正確であり入力時間を短縮できる。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-139	通関	EDA	自由化申告での輸出の許可後、船舶等に変更があり変更申請する場合、EAB(海上の場合)で申告を呼び出すと”申請官署”と”申請先部門”の欄が空欄になっており、そのまま申請を行うと蔵置した場所に応じた税関に申請を行ってしまうので、再度”申請官署”と”申請先部門”を入力し直さないような設定にしてほしい。	自由化申告での輸出の許可後、船舶等に変更があり変更申請する場合、EAB(海上の場合)で申告を呼び出すと”申請官署”と”申請先部門”の欄が空欄になっており、そのまま申請を行うと蔵置した場所に応じた税関に申請を行ってしまうので、再度”申請官署”と”申請先部門”を入力し直している。	自由化申告での輸出の許可後、船舶等に変更があり変更申請する場合、EAB(海上の場合)で申告を呼び出すと”申請官署”と”申請先部門”の欄が空欄になっており、そのまま申請を行うと蔵置した場所に応じた税関に申請を行ってしまうので、再度”申請官署”と”申請先部門”を入力し直さないような設定にしてほしい。	スマートに業務をこなすことができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-141	通関	EDA	仕向人欄の国コードについて、国コード2桁を入力すれば、その右側に国名が自動に出るようにして欲しい。	国コード2桁のみ表示される。	国コード2桁ではどこの国かわからない場合があるので、「最終仕向地」欄のように国名を反映して表記されるようにして欲しい。	インドとインドネシアなど、国コード2桁ではどこの国かわからない場合がある。誤入力、誤申告を防ぐ効果がある。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-143	通関	EDA	EDA, SEL(大額)とEDA, SES(少額)のフォーマットを統一して欲しい。	EDA, SEL(大額)とEDA, SES(少額)ではフォーマットが違う。	EDA, SEL(大額)とEDA, SES(少額)フォーマットを統一して欲しい。	過去データを反映させる形で入力作業をするとき、同じ実績で大額用と少額用を用意する必要がある。他にも大額⇄少額変換がスムーズにできた方が便利な場面が多々ある。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-150	通関	EDA EDB EDC	日本製の大額と、統計上除外のEのHS CODEが同じの場合、申告価格の箇所が合算表示になるがおかしいのではないか	同左			関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-152	通関	EDA EDC IDA IDC	「申告入力控」「許可通知書」及び「許可通知書兼控え」への申告関連帳票への申告/許可の『時刻』の表示を追加する。全業態(航空輸出、航空輸入、海上輸出、海上輸入)に対してを要望。	申告/許可日は帳票に表示があるが、申告/許可時刻の表示が無い為に、時刻を知るには毎回をNACCSで照会する必要がある。	申告/許可日に加えて『時刻』を帳票に追加する。	通関業者及び輸出者・輸入者においても申告/許可時刻の確認をする際、書類上で時刻の確認が可能になり、NACCS照会業務を利用する事無く、業務軽減に繋がる。申告/許可が年間各々約85万件。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-153	通関	EDA IDA	入力したN/Wの合計を確認できるようにして欲しい。	特になし	入力したN/Wの合計を確認できるようにして欲しい。	N/Wの数値を入力ミスしているかどうか検算できるようになり、ミスが減少する。	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-154	通関	EDA01, EDE	輸出申告後、天候などの理由により搬入予定蔵置場所が官署を超えて発生した場合に、輸入同様変更できるようにしてほしい	官署を超えて蔵置場所が変更になる場合には、申告撤回を行い申告書を作り直し、新規で申告をし直す必要がある。	輸出でも予備申告ではないが、事前申告での処理を行っているものがほとんどであり、影響は輸入と変わらないので、導入を検討してほしい。		関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-156	通関	EDC	コソボ共和国をNACCS申告の対象にしたい。	NACCS都市コードが適用されていない	NACCSで申告できるようにして欲しい	マニュアル申告は煩雑である	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-157	通関	EDC	EDC画面での価格再確認情報の表示	統計品目欄の価格レンジが外れている場合、エラーコードとして“W0005-0000-0000”が表示される。	該当欄の番号と“H”“L”の表示をエラー番号の末尾もしくは別行に表示していただきたい。可能であれば価格レンジが何に対してどれだけ離れているかを確認できるようにしていただきたい。	EDC画面では“W0005-0000-0000”のみの表示の為、画面上価格レンジ外れが出ている事は確認できるが、どの欄で発生しているのかが一目でわかりにくい。また、価格レンジがどれほど離れているのか、何が誤りなのかの確認に時間を要している。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-162	通関	HYS	自動車通関証明書の申請	HYSで印紙の納付はできるが、通関証明書の受理印を窓口でもらわなければならない、印紙添付の上マニュアルで税関収納課窓口へ提出している。	汎用申請にて証明書交付申請書と共に自動車通関証明書、輸入許可書、申告書類一式を申請し、受理印に代わる証明書等の発行をもって対応してほしい。	毎回窓口へ直接提出しなければならない、税関へ出向く手間を省略したい。また、コロナ対策のため極力対面での提出、対応を避けたい。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-163	通関	I01, I02, I03	業務コード I 0 1 (一括納付書情報), I 0 2 (納付書番号通知情報), I 0 3 (一括納付用明細書情報) それぞれに「輸入取引者」「輸入取引者住所」の表示追記を要望致します。	現行では、管理資料情報の I 0 1, I 0 2, I 0 3 の全てにおいて輸入許可書上の「輸入取引者」が表示されない仕組みとなっている。I 0 1 (一括納付書情報): 納税者・住所欄に輸入許可書上の輸入者・住所つまり限定申告者名・住所のみが表示される。I 0 2 (納付書番号通知情報): 納税義務者名・住所欄に輸入許可書上の輸入者つまり限定申告者名・住所のみが表示される。I 0 3 (一括納付用明細書情報): 輸入許可書上の輸入者・住所つまり限定申告者名・住所のみが表示される。輸入許可書には輸入取引者・住所は表示されている。	平成 3 1 年 3 月 2 9 日付関税局長発出による通達改正 (平成 3 1 年 4 月 1 日施行) に伴い、限定申告に係る輸入取引者の延納担保使用が可能になった (実際には輸入取引者自身が、自己の延納担保を使用して輸入許可を得ている) ことから、現行システムを変更し、「輸入取引者名」「輸入取引者住所」欄を設けて追記して頂きたい。実際に輸入許可にあたり、納税者が明確になります。(別添 I 0 1, I 0 2, I 0 3 資料参照) *「輸入取引者」「輸入取引者住所」スペース的に難しいのでしたら「輸入取引者名」だけでも記載お願いしたい。	輸入取引者が自身の延納担保を使用して、輸入許可を得ているにも関わらず、輸入取引者名・住所が納付書に表示されていないために、金融機関への納付の際にも自身とは別の輸入者名 (限定申告者名) が書かれた納付書にて納付を行う事になります。それを解消するためにも「輸入取引者名」「輸入取引者住所」を I 0 1 (一括納付書情報)、I 0 2 (納付書番号通知情報)、I 0 3 (一括納付用明細書情報) に追記して頂く事により、実態に即した形となるため。実際に納税した輸入取引者名が納税管理資料に出て来ないのは、そもそも実態に合っていないため、納付者が明らかになる効果があります。またこれまで限定申告に係る貨物の輸入は通関業者が関税・消費税を立て替えていましたが、輸入取引者の延納担保の使用により、通関業者の立替が無くなり、通関業者の立替問題について絶大な効果があります。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-166	通関	IAW	IAW等によって税関の審査開始時間等 (進捗状況) が参照できる機能の追加	輸入申告において、審査区分が 2・3 等になった場合で許可までに時間が掛かる際、税関の審査状況等を確認する為、弊社から申告先税関へ電話による照会等をしております。	IAW等のNACCS照会業務によって、税関の審査開始時間等が参照できる機能や、MSX等で送信した添付ファイルに対する開封確認等できる機能追加いただくよう仕様変更お願い致します。	弊社含めた通関業者から税関への電話による照会等が低減され、業務効率の向上 (許可までの時間短縮) に寄与できると思慮いたします。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-167	通関	ICG	貨物情報照会「ICG」の出力項目へ通関士コードを追加	「ICG」の出力項目に通関士コードはない。	申告後、どの通関士が申告したか調べる際、現在は、通関士コードが出力される輸出入者情報照会「IIE」にて確認しているが、「ICG」で確認したい。	「ICG」で税関審査状況等を頻繁に確認している為、その出力項目に通関士コードがあれば、「IEX」で調べ直す必要が無くなり、工数と業務料金が削減される。	システムの改修規模が大きい (改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等) ため対応が困難
R03-169	通関	IDA	共通管理番号欄に番号を入力し、その横の食品 (恐らく植防、動検も) 欄に実際の共通管理番号で紐付けした届出件数と違う件数をいれてもエラーメッセージが出ないので、食品 (恐らく植防、動検も) 欄に入力した件数と、共通管理番号で紐付けした届出件数が一致しない場合はエラーメッセージが出るようにしてほしい。	IDAでの届出件数が共通管理番号に紐付く件数より多い場合、その後更に共通管理番号に紐付く新しい届出がされるのかシステムでは判断できない為、エラーにすることはできない。	共通管理番号欄に番号を入力し、その横の食品 (恐らく植防、動検も) 欄に実際の共通管理番号で紐付けした届出件数と違う件数をいれてもエラーメッセージが出ないので、食品 (恐らく植防、動検も) 欄に入力した件数と、共通管理番号で紐付けした届出件数が一致しない場合はエラーメッセージが出るようにしてほしい。	誤申告の防止	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-170	通関	IDA	石油石炭税、揮発油税が課税の場合に、数量単位を「L」として数量を入力がされない場合、エラーになるように変更していただきたいです。(統計上単位は「KL」となっている為)	石油石炭税、揮発油税の課税標準は「L」単位で計算されますが、統計数量単位が「KL」である為、誤って「KL」で入力してもそのまま送信されてしまいます。	「L」で入力が行われた場合には、システムが自動的に換算して統計計上を行います」とありますが、「KL」で入力が行われた場合にはエラーが出るようにしていただきたいです。	統計計上単位と課税標準の単位が異なっている場合において、誤りを防ぎ、正しい申告につながる為。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-171	通関	IDA	基本無税のHSについて、2国間協定またはメガ協定適用の原産地コードを入力した場合、メッセージを表示して欲しい。	基本税率無税のHSであってもEPA (FTA) 税率の選択が可能。基本無税であるメッセージは表示なし。	基本無税の場合EPA (FTA) 税率を選択する必要は無いが、システム上選択できるため、誤った選択をしてしまった場合入力訂正を行う必要あり。	入力ミスを防げる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-172	通関	IDA	海上の様に複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWB 1 申告	IDAのAWB欄を複数欄に設定して欲しい	マニュアル申告となり、事前の税関への確認、納税手配等が発生し、これがNACCSで行えれば省力化につながる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-174	通関	IDA	AIRにて、複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWBのみでの申告対応	海運と同様に、IDAのAWB欄を複数欄に設けてほしい。過去に航空輸送上、危険品申告の関係により、分割輸送されて、マニュアルによる1申告したことが、何度かあった。現在も輸入者から相談受けることがあります。	税関事前相談、あるいは、輸入者経由にて輸出者にインボイスを1AWBごとの分割作成が可能であるかの相談、マニュアル申告書 (納付書記載含む)、及び税関への窓口持参等の労力、手間が省ける	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました



項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-175	通関	IDA	輸入承認等番号欄につき、全て縦一列表示してほしい。	まれに縦一列表示になることがあるが大半は、左右交互に表示されている	縦一列に1~10まで表示できる様にしてほしい	左右交互表示による番号の重複誤入力を防ぎ、縦一列表示により、IDA後の誤入力チェックをしやすくなる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-176	通関	IDA	荷主口座担保残高がわかるようにしてほしい	表示なし	コンプライアンス上、荷主口座担保残高を見ることが可能であるなら、延納残高と同様に、荷主口座担保残高もわかるようにしてほしい	申告前に輸入者に納税種別の相談が可能となる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-177	通関	IDA	他法令コードを入力しているのに、承認証番号等が入力されていない場合、アラートを出して欲しい。	警告表示は示されない	例えば関税法70条関係許可承認欄にPAと入力しているのに、輸入承認証番号等欄がブランクになっている場合にアラートを出す。その逆も同様にアラートを出す。	適正申告並びにミスの防止。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-179	通関	IDA	輸入実績のほとんどない税番のアラート表示	特定の国、地域からほとんど実績のない税番を採番しても気づかず申告してしまう	特定の国、地域からほとんど実績のない税番を採番した場合にアラートが出るようにしてもらいたい	ほとんど申告実績のない(=使ってはいけない)税番があるのならば、入力時にアラートが出れば採番ミスを事前に防ぐことができ非違誤謬の発生を抑制できる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-180	通関	IDA	NACCSの貨物情報が積地コードをZZZで入力されている	運送上等で確認して積地名を手動入力している	積込港についてはZZZの事前入力ができないようにするか、ZZZのまま申告を進めることを認める。	敏速な貨物引き取りのため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-182	通関	IDA	貨物情報と輸入申告入力控え情報の不一致	貨物情報の記号番号と輸入申告入力控えの記号番号が不一致であっても、エラーが出ず申告できてしまう	貨物情報の記号番号と輸入申告入力控えの記号番号が不一致の場合はエラーが出て申告できないようにしてもらいたい	記号番号が貨物情報と一致しないために貨物が搬出できなくなり、税関に原本訂正を願わなければならないことを防止する	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-183	通関	IDA	他通関業者のNACCS口座での関税・消費税・地方消費税の引き落としを可能にしてほしい	他通関業者のNACCS口座は使用不可	業界全体で立替金の減少が過大となっているが通関業者間での立替金も少なくない。元請けの通関業者のNACCS口座が利用できない理由で立替えを行うケースが多々見られる為。	通関業者の立替金負担問題の軽減	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-184	通関	IDA	荷主口座担保残高がわかるようにしてほしい	表示なし	コンプライアンス上、荷主口座担保残高を見ることが可能であるなら、延納残高と同様に、荷主口座担保残高もわかるようにしてほしい	申告前に輸入者に納税種別の相談が可能となる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-185	通関	IDA	他法令コードを入力しているのに、承認証番号等が入力されていない場合、アラートを出して欲しい。	警告表示は示されない	例えば関税法70条関係許可承認欄にPAと入力しているのに、輸入承認証番号等欄がブランクになっている場合にアラートを出す。その逆も同様にアラートを出す。	適正申告並びにミスの防止。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-186	通関	IDA	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、間違えて10%(標準税率)を適用される、内国消費税等種別コードで申告した場合、エラーメッセージが出るようにしてほしい。	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、間違えて10%(標準税率)を適用される物品で申告した場合、そのままスルーして通ってしまう。	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、内国消費税等種別コードを間違えて10%(標準税率)を適用される物品で申告した場合、エラーメッセージが出るようにしてほしい。	申告貨物の税番が、8%(軽減税率)を適用される物品なのにもかかわらず、間違えて10%(標準税率)を適用される、内国消費税等種別コードで申告した場合に、エラーメッセージが出れば、誤謬防止になる。	システムの仕様上変更は不可
R03-187	通関	IDA	1-2桁目は「原産地(申告)種別」である4桁の原産地コードと原産国が不一致の場合にエラーメッセージが出るようにして頂きたい。	原産地(申告)種別コードが原産国と不一致の場合の場合でも、そのままスルーして申告が進んでしまう。	例えば、原産地種別はEUなのに、原産国はマレーシアと記載した場合にエラーメッセージが出るようにして頂きたい。	エラーメッセージが出れば、誤謬防止になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-190	通関	IDA	AIRの申告書につきましては、申告時に時間が記載されている。申告時の申告時間は、記載が無くても良いのではないのでしょうか。	AIRの申告書は申告時の時間が記載されている。	記載をしなくても良いのでは。	海上の申告分には記載が無いので、海上の記載方法と統一してほしい。	第7次NACCS更改において対応可否を検討

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-193	通関	IDA	法人番号で申告を行なう際も、輸入者の住所を自動的に反映させてほしい	法人番号で申告を行なう場合、輸入者及び住所を手入力にて行なっている	法人番号で申告を行なう際も、輸入者の住所を自動的に反映させてほしい	誤入力を防ぐため	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-194	通関	IDA	延納番号の入力控へのデータ反映	申告控に使用延納番号の印字がされない為、番号が正しく入力されているかの確認はIDBにて実施している	延納番号の入力控へのデータ反映可能とするようにしてほしい	入力ミスの防止	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-198	通関	IDA	B/L番号入力数の増加	IDA業務のB/L番号入力カ所については、BL5件分しか入力できず、申告を分けなければならなくて困っている。	IDA業務のB/L番号入力 6件以上可能にしていたきたい。	1申告で済む。インボイス分割表の作成が不要になる。原産地証明書分割表の作成が不用になる。許可情報の内容を荷主が分かり易い。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-199	通関	IDA	繰返部の課税標準数量の入力を小数点第3位まで入力できるように。	石炭の輸入時、繰返部の課税標準数量の入力が小数点第2位までしか入力できない。INVOICEの数量は小数点第3位までであり正式な数量が入力できず、石油石炭免税にも影響がでている。	繰返部の課税標準数量の入力を小数点第3位まで入力できるように改善してほしい。	INVOICEの数量どおり小数点第3位まで入力できることで、正確な申告と石油石炭免税への影響も出ない。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-200	通関	IDA	担保番号の表示	輸入申告書上に担保番号が表示されない	輸入申告書上に担保番号が表示されるようにしていただきたい。	書類審査時に使用担保番号をIDAで確認しなくてはならず、業務効率が悪い。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-202	通関	IDA	5BLを超えるものは、マニュアル申告だが、B/L入力数の増加もしくは、記事欄にB/Lを入力してもシステムと連動されるような仕様にして欲しい	現行5B/Lまで	NACCSによる、輸入申告書作成の方がはるかに業務効率が高い為	システムで行えば、税関窓口訪問不要となる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-203	通関	IDA	輸入承認証等に入力する関税割当コードと番号入力のアンマッチ時のエラー表示化	承認証等にKANW(システム利用で無い)、番号欄にシステム利用した番号(C●●●)を入力しても受付ける	輸入承認証等コード(KANS/KANW)と入力する関税割当番号(システム利用/システム利用しない)でアンマッチがある場合はアラーム表示がされるようにしてほしい。	誤入力の防止、後続業務TQC業務への確実な移行	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-204	通関	IDA	軽減税率対象貨物の品目番号を入力して内消費税種別にF4を入力したら何かメッセージが出るようにして頂きたい。	現行軽減税率対象貨物の品目番号を入力して内消費税種別にF4にしても業務メッセージには何も出ないと思います。	業務メッセージに「軽減税率対象貨物ではありませんか?」と入れて頂ければ幸いです。	入力誤りの多い箇所と思われます。誤った場合、輸入者との対応に大きな労力を要します。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-207	通関	IDA	ISW申告の際にも食料品のHSCODEを入力した時に消費税等種別にF4を入力したら注意喚起がでるようにしてほしい	ISW申告の際には食料品のHSCODEで消費税等種別に誤ってF4を入力しても注意喚起がでない。	ISW申告の際にも食料品のHSCODEを入力した時に消費税等種別にF4を入力したら注意喚起がでるようにしてほしい	入力間違いをしても気づかない可能性があり、改修してほしい	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-209	通関	IDA	AIRにて、複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWBのみでの申告対応	海運と同様に、IDAのAWB欄を複数欄に設けてほしい。過去に航空輸送上、危険品申告の関係により、分割輸送されて、マニュアルによる1申告したことが、何度かあった。現在も輸入者から相談受けることがあります。	税関事前相談、あるいは、輸入者経由にて輸出者にインボイスを1AWBごとの分割作成が可能であるかの相談、マニュアル申告書(納付書記載含む)、及び税関への窓口持参等の労力、手間が省ける	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-210	通関	IDA	輸入承認等番号欄につき、全て縦一列表示してほしい。	まれに縦一列表示になることがあるが大半は、左右交互に表示されている	縦一列に1~10まで表示できる様にしてほしい	左右交互表示による番号の重複誤入力を防ぎ、縦一列表示により、IDA後の誤入力チェックをしやすくなる	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-211	通関	IDA	IDA時の減免税コード過入力の際、エラーとなる仕様の追加	民間航空機貿易に関する協定の対象産品（税番）、かつ関税無税、かつ原産地が協定国の場合、IDA時の減免税コード欄に「00111」を入力する必要がありますが、該当しない産品（税番）、原産地であっても入力可となっており、過入力したまま申告することが散見されます。 （申告先税関から指摘うけ、申告後訂正や許可後訂正となることが散見されます）	入力不要な税番・原産地の場合、入力不可（エラー）となるよう仕様変更お願い致します。	輸入申告書類作成時並びに通関士による審査の際、入力可否を都度確認することが不要となり、業務効率の向上（申告までの時間短縮、許可後の税関含めた関係者の無用な業務等の低減）及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-212	通関	IDA	IDA時のインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）の追加	IDA入力時において、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）は「FOB」「C&I」「C&F」「CIF」の4種類となっており、それ以外のインボイス価格条件（建値）の場合、課税価格を自動計算させたいので、上記4種類のうち類似のコードを入力するが、この場合、実際取引の価格条件を「記事（税関）」欄に入力する必要があります。業務効率が低下する一因となっていることに加え、入力漏れ、入力間違い等が発生し、税関から指摘受け申告後訂正等となることが稀に発生。	例えば、「EXW」「FCA」等、使用される頻度の高いインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算される仕様への変更お願い致します。 （可能であれば、上記以外の建値についても追加お願い致します）	誤申告等の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-213	通関	IDA	IDA時の運賃について、妥当額を外れる場合に注意喚起メッセージが表示される仕様の追加	IDA入力時において、運賃の通貨単位を誤認して入力（例：誤USD、正JPY）、書類作成者・審査通関士ともに遺憾ながら誤入力に気付けないまま申告、区分1で許可となる通関事故が発生。 ※重量(KG)あたりJPY31,759という航空運賃となっていた。	例えば、重量(KG)あたりの運賃がJPY1,000を超える場合やJPY10未満の場合、入力控に注意喚起メッセージが表示されるよう仕様変更お願い致します。 ・妥当金額の設定及び小口貨物（例：10KG未満の貨物）には表示させない、等は、各通関業者（利用者コード別・航空/海上別）にてNSS等で随時設定、変更できる仕様希望。	入力控の注意喚起メッセージによって、輸入申告書類作成者・審査通関士ともに、運賃の誤入力に気付きやすくなり、修正申告・更正請求事案の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-214	通関	IDA	輸入申告における関連省庁システムとのリンク付けについてですが、食品等輸入届出事項登録の場合のリンクできる件数を40件以上等、大幅に増加してほしい。	輸入申告と関連省庁システム（他法令手続）とのリンク付けは、食品等輸入届出事項登録の場合、9件までと認識している。	種類の多いお酒の輸入案件が生じると、食品届出件数は多い時で、40件以上生じる場合もあり、9件だけだとリンクできなくなってしまう。	リンクが出来ないと、食品届出控、及び済証を、PDF添付し、MSXで添付送信する手間が生じてしまう。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-218	通関	IDA SID	IDA SID(輸入申告)において1申告で10B/Lまで申告を可能として頂きたい。	1申告で5 B/Lまで申告可能となっている。6 B/L以上で1申告の場合はマニュアル申告となってしまう。	IDA SID(輸入申告)で1申告10B/Lまで申告を可能として頂きたい。若しくは、若しくは、輸入申告でもB/Lの仕合せ業務を可能としていただきたい。  分割申告が不可能な場合があり、NACCSが対応出来ないことを理由にマニュアル申告となっている。 また、昨年 経済財政諮問会議での答申を経て『全ての行政手続きを対象に見直しを行い原則デジタルで完結できるよう見直す。』と閣議決定されます。過去に同様の要望も上がっております。再度検討の程、宜しくお願い致します。	マニュアル申告を削減することにより、MSXが可能となり、書類持ち込みの必要がなくなり、申告官署自由化のメリット享受する事ができる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-219	通関	IDA SID	マーク・荷姿を入港日のように本申告時に自動入力される項目を増やして欲しい。	本申告時に自動入力される項目を増やして欲しい。ICGで内容を確認しているが、通関業者がICG確認後、本申告までの間に倉庫が訂正してしまい、許可後の訂正を求められる場合がある。	マーク・荷姿を入港日のように本申告時に自動入力される項目を増やして欲しい。また、航空の輸入申告で自動入力となっている場所も併せて海上でも自動入力として欲しい。	申告内容の変更となる項目も多く、通関士審査結果登録(CCA)の回数が増え煩雑となっており、通関士が在宅勤務を行う妨げにもなっている。在宅勤務を進めるためにも改修して欲しい。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-223	通関	IDB	共通管理番号や輸入承認番号等欄にを入力し、他法令欄（関税法70条関係許可承認欄）が空白 だった場合、アラートを出して欲しい。	何も表示されない	他法令に係るHSに関して注意喚起のアラートを出してほしい。	他法令の確認漏れを入力K漏れを防ぐため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-226	通関	IDC	他法令欄や貿易管理令欄、輸入承認証欄、輸入承認証番号等欄、記事欄などの未入力時のエラーサイン表示	ワシントン条約の申告の際、貿易管理令に”W”を入力しても輸入承認証番号等欄が未入力であっても申告可能となっている。他法令についても同様である。また税関記事欄についても、例えば原産品申告書を用いて申告する際に、完全生産品の場合は”EPA WO”を入力する必要があるが入力がなくても申告が可能である。	いずれかを入力した場合に関連する項目が入力されていないと警告メッセージもしくはエラーが表示されるようにする。	入力漏れが防げることとなり、適正な申告に繋げられる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-228	通関	IDC	税関の執務時間が官署により異なるのでシステムとしての利用は24時間統一してほしい。	BND貨物の通常申告できる時間は税関官署ごとに異なる	システムとして24時間の申告業務の稼働を行えるようにする。	サテライト、在宅業務化の促進	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-229	通関	IDC	他法令欄や貿易管理令欄、輸入承認証欄、輸入承認証番号等欄、記事欄などの未入力時のエラーサイン表示	ワシントン条約の申告の際、貿易管理令に”W”を入力しても輸入承認証番号等欄が未入力であっても申告可能となっている。他法令についても同様である。また税関記事欄についても、例えば原産品申告書を用いて申告する際に、完全生産品の場合は”EPA WO”を入力する必要があるが入力がなくても申告が可能である。	いずれかを入力した場合に関連する項目が入力されていないと警告メッセージもしくはエラーが表示されるようにする。	入力漏れが防げることとなり、適正な申告に繋げられる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-231	通関	IDC	事故貨物「Z」の輸入申告について	申告時、エラー対応とはならず申告後に、区分Z2が払い出される	貨物情報とリンクしているIDC業務に於いて、Z貨物の場合、申告不可として欲しい。	●適正申告の確保 ●区分1を想定した税関業務の負担軽減 ●区分1を想定した通関業者の業務負担軽減	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-232	通関	IDC	70条 入力 CR /FD/PL/AN 等	輸入承認証番号等に CRNO XXX の入力しているが、70条コード「CR」の入力を失念した場合もエラーとならない。	輸入承認証番号等欄(4桁 CRNO)の入力がある場合に限り、上位2桁とのリンク付けによる70条欄 入力失念のエラー対応、若しくはアラート対応	●適正申告の確保・非違の削減 ●FD等の入力失念により区分1に於いては、Yが付かず税関へ提出されない恐れがある。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-233	通関	IDC	予備申告において蔵置される上屋が変更になった時に上書きし自動的に起動するようにしてほしい	予備申告内容と蔵置される上屋が違くと自動起動しない	自動的に蔵置される上屋を上書きして本申告が進むようにしたい	特に開庁の時に予備申告をするが、スムーズに本申告に進めるようになる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-234	通関	IDC	予備申告時から上屋変更があった場合に上書きして自動起動	予備申告と上屋が違くと自動起動せず	予備申告後に上屋変更があった場合に、自動的に上屋を上書きして本申告が入るようにする	夜間に貨物が搬入するようなケースでの、上屋不一致による本申告の起動ができないケースをなくす	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-235	通関	IDC	予備申告時から上屋変更があった場合に上書きして自動起動	予備申告と上屋が違くと自動起動せず	予備申告後に上屋変更があった場合に、自動的に上屋を上書きして本申告が入るようにする	夜間に貨物が搬入するようなケースでの、上屋不一致による本申告の起動ができないケースをなくす	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-240	通関	IDI	許可前の申告を含めた全ての輸入申告において、IDIの検索結果にMSXの有無を表示してほしい。	MSXの送付漏れがあると税関において審査が行われない為、許可前の全ての区分2・3の申告においてIMSで送付漏れを確認している。	IDIの検索結果にMSXの有無を表示して欲しい。		過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-241	通関	IDI	輸入申告等一覧照会【IDI】機能の改善	輸入申告等一覧照会【IDI】の通関関係書類未提出申告一覧【L】では、審査区分1の通関関係書類の提出状況は確認できますが、審査区分2又は審査区分3の提出状況は確認できません。さらに、予備申告【IDC】後、輸入申告変更事項登録【IDD】を行った場合、【IDC】を行っていないものは審査区分が表示されないため提出状況は確認できません。	審査区分に関わらず通関関係書類の提出状況を確認できるよう要望します。【IMS】での書類の送付確認(1日あたり2時間から3時間)作業が解消されることが期待されます。		過去に同様の要望を検討した状況から変化なし

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-242	通関	IDI IES	申告一覧照会情報のAIRの申告分におきまして、社内整理番号が記載されるべきところに、社内整理番号が記載されません。記載されるよう設定変更してほしい。	申告一覧照会情報のAIRの申告分は、社内整理番号が記載されない。	申告一覧照会情報のAIRの申告分におきまして、社内整理番号が記載されるべきところに、社内整理番号が記載されない。	社内において、申告済みかの確認は、申告一覧照会情報で社内整理番号を探して確認している。要は社内整理番号を確認の基準としているので、IDIで申告状況を確認する際に社内整理番号を見ることが出来ないと確認しづらい。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-245	通関	IFA	社内整理番号、荷主REF NO.の入力欄が欲しい	社内整理番号、荷主REF NO.の入力欄なし	食品届出済証に社内整理番号や荷主REF NO.を表示させたい	出力帳票にそれらの番号が記載されていたら、輸入者・通関業者ともに帳票の管理がしやすい	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-246	通関	IFA	訂正後の更新がされるようにしてほしい。	IFDで訂正後、枝番（1になった番号）でIIFを見ても訂正前にOKになったままで更新されない。	訂正後の更新がされるようにしてほしい。	審査状況の正確な確認に役立つ。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-247	通関	IFA	記事欄の入力文字数を増やしてほしい。	記事欄の入力数が少ない。	文字数を増やしてほしい。	業務の効率化に役立つ	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-248	通関	IFA	連絡票の文字数を増やしてほしい。	連絡票の文字数が少ないため、何枚も出てきて紙の無駄。	文字数を増やしてほしい。	無駄を省ける。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-249	通関	IFA	同一荷主の申請で申告番号をまとめて入力し、パスワード入力1回で済むようにしてほしい。	同一荷主の申請でまとめて申請できない。	申告番号をまとめて入力し、パスワード入力1回で済むようにしてほしい。	業務の効率化に役立つ	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-250	通関	IFA	NACCSで品目登録番号や輸入者コードで内容が検索できるようにしてほしい。	品目登録がNACCSで検索できない。	NACCSで品目登録番号や輸入者コードで内容が検索できるようにしてほしい。（但し、情報漏洩の問題が無いことを条件として）	業務の効率化に役立つ	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-251	通関	IFA	NACCSで品目登録が申請ができるようにしてほしい。	品目登録が紙提出	NACCSで申請ができるようにしてほしい。	業務の効率化に役立つ	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-252	通関	IFA	NACCSで入力装置の届け出ができるようにしてほしい。	入力装置の届出も紙提出。	NACCSで届け出ができるようにしてほしい。	業務の効率化に役立つ	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-253	通関	IFA	輸入者富符号から法人番号になっても品目登録済データを再申請することなく引き継ぐ。	将来的に輸入者富符号が廃止になり、法人番号だけになった場合、現在の品目登録済データを再申請することなくシステム上で自動引き継ぎされるのか不明。	輸入者富符号から法人番号になっても品目登録済データを再申請することなく引き継げるようにしてほしい。	不必要な業務負担が発生しなくなる。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-254	通関	IFA	原材料・添加物欄をもう少し増やせるなら増やしてほしい（20欄ぐらいまで）	現在はそれぞれ15欄まで	原材料・添加物を多く使用した貨物がそれなりにあり、別紙として出てくるのに紙の無駄に感じる。PDFファイルで落とす作業も手間がかかる。	紙提出時、紙の削減。入力してチェック時にチェックしやすくなる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-255	通関	IFC→IDC	複数件数の食品等輸入届（IFC）取得後の輸入申告について（リンク数の誤入力）	IFC時に実際の申請数が5件しかないが、リンク数を誤って6と入力してもエラーにならない。	IDC時に共通管理番号を6件分と入力しても本申告（IDC）が可能。共通管理番号の申請件数とリンク数が違えば申告がかからないよう対応願いたい。若しくはIFC時に申請エラーとなるよう願いたい。	食品等輸入届の適正な申請と輸入申告時の非違・誤謬防止に繋がる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-257	通関	IIE	IIE業務の検索結果の変更	会社情報を公表していない税関発給コードの場合、輸出入者名で検索すると検索結果がエラーコードE0004「入力された輸出入者名で始まる輸出入者は登録されていない。」となる。 一方、検索条件が輸出入者コードであれば、検索結果はエラーコードE0006「入力された輸出入者コードの輸出入者情報は公開されていない。」となる。	顧客は輸出入者符号の取得は無いとの認識であっても、IIEで検索をかけると取得がある場合がある。その場合、輸出入者名で検索をかけるが、税関発給コードを取得をしているが情報の公表をしていない場合、検索結果がエラーコードE0004となるため取得していないものと判断してしまう。E0006が検索結果として出るなら、顧客への再確認が出来る。	顧客が税関発給コードの取得状況を正確に把握していない場合でも。税関発給コードの取得状況が分かるようになるため、顧客へ再度問い合わせることができ、正確な顧客情報をういた申告が可能となる。	非公開の概念自体が税関発給コードしか存在せず、税関発給コードが非公開の場合は、E0006エラーとなる
R03-259	通関	IIE IIE01	IIEを法人番号でも検索できるようにし、IIEとIIE01の法人番号を業務リンクで紐づけて欲しい。	IIEは輸出入者符号か輸出入者名（英字）でしか検索できない。	IIEを法人番号でも検索できるようにし、IIEとIIE01の法人番号を業務リンクで紐づけて欲しい。	社名（日本語表記）と法人番号がわかれば輸出入者符号の有無を確認できるようになる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-260	通関	IIE01	IIE01(法人番号照会)を送信時の返り電文に「輸出入者コード」の出力フィールドがほしい。	現在は、商号又は名称、国内所在地のみ出力される	法人番号は判っているが、紐づいている輸出入者コード（有無も含めて）を知りたい状況があるため。	申告にあたって正確に把握しておきたい事項が即座に確認できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-262	通関	IMS	ICG業務の様に、画面を元に戻さなくても連続送信できるようにしてほしい	現状は複数申告分のIMSを確認しようとする、確認したい件数毎にIMSの画面を開き直さなくてはいけない	IMSの最初の画面で入力し、送信した後の展開画面からも次申告分のIMSが展開できるようにしてほしい	複数申告のIMSを確認する際に、都度画面を閉じて再入力する手間を省きたい為	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-263	通関	IPC→IDC	複数件数の輸入植物申請（IPC）取得後の輸入申告について（リンク数の誤入力）	IPC時に実際の申請数が5件しかないが、リンク数を誤って6と入力してもエラーにならない。	IDC時に共通管理番号を6件分と入力しても本申告（IDC）が可能。共通管理番号の申請件数とリンク数が違えば申告がかからないよう対応願いたい。若しくはIFC時に申請エラーとなるよう願いたい。	食品等輸入届の適正な申請と輸入申告時の非違・誤謬防止に繋がる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-265	通関	IXX	ICG業務の様に、画面を元に戻さなくても連続送信できるようにしてほしい	現状は複数申告分のIXXを確認しようとする、申告件数毎にIXXの画面を開き直さなくてはいけない	IXXの最初の画面で入力し、送信した後の展開画面からも次申告分のIXXが展開できるようにしてほしい	複数申告のIXXを確認する際に、都度画面を閉じて再入力する手間を省きたい為	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-267	通関	MHA	IS申請中のものは、見本持ち出し申請が不可能。これを可能として欲しい。	IS申請中の場合、見本持ち出し申請はマニュアル申請となる	NACCSによる、見本持ち出し申請の方がはるかに業務効率が高い為	システムで行えば、税関窓口訪問不要となる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-269	通関	MIC	申告控・許可書等の取り出し	都度、未読電文取出をしなければ、各電文を受信することが出来ない	取出作業がなくても電文受信が出来ないか	リアルタイムでの許可件数の把握と取出作業削減	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-271	通関	MOA	輸出申告履歴のある中古車のMOTAS登録の際にアラートを出してほしい	MOTAS登録時、過去に一度輸出申告を行った中古車であっても登録可能であり、輸出申告を行いMOTASの不突合表示が出ないとそれが分からない。	MOTAS登録時、過去に輸出申告を行ったことが分かるようにアラートを出してほしい。	輸出通関履歴のある中古車であることが分かれば、事前に輸出予定届出証明書原本を取り寄せることが可能となり、スムーズな輸出通関が行えるため。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-272	通関	MSB	MSBの確認	電話で確認するか返信の電文がくるまでMSBがきちんと確認されているか分からない	NACCSでMSBの審査状況を確認できるようにしてほしい	電文があがってくるまでのタイムラグの間に、電話でも同じことを確認してしまう二度手間を減らすため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-273	通関	MSX	申告添付登録（MSX）の輸入申告に添付できるデータ容量を40MBに拡張して欲しい。	現在、合計10MBに拡張されたがまだ不足する場合があります。画質を落として容量削減するなど苦慮している。	添付データ容量を合計40MBにしてほしい。	業務の効率化に繋がる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-274	通関	MSX	添付ファイル容量の制限緩和	容量制限により必要なデータを送り切れないことがある。なんとか送信枚数を減らしたり、画質を下げ不明瞭な書類を送付するしかない	添付ファイルの容量制限を緩和してほしい	必要なデータを全て明瞭な画質で送ることができ、税関へ正確な情報を伝えることができる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-275	通関	MSX	申告添付登録の申告添付登録の容量増加	1回の申告添付登録業務あたり、ファイル数は最大10ファイル、合計容量は最大10MB	1回の申告添付登録業務あたり、ファイル数は最大10ファイル、合計容量は最大10MBから、せめて15MBへ容量の増加。	通関関係書類の電子的提出についての趣旨を完結出来る。（MSBで対処できない書類を申告官署窓口提出へ切り替えざるを得ない対応の軽減）	第7次NACCS更改において対応可否を検討

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-278	通関	MSX	データ容量の拡大	1ファイルの容量3MB 合計容量が10MB	1ファイルの容量を10MBに拡大	通関書類が100枚以上になる場合等、3MBを超えないように調整する必要がある。容量拡大となれば業務効率向上につながる。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-282	通関	すべて	印刷機能にPDF化を追加	紙印刷	PDFへファイルとして保存。ファイル名に社内管理番号を付けられるようにする。社内管理番号を付けることはすべての帳票に対して社内管理番号の入力と印刷ができるようにして貰いたい	デジタル化の促進 ペーパーレス化の促進	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-283	通関	すべて	全ての帳票にバーコードの印刷を行う事で現場作業等でのシステムへの入力を軽減する	帳票を見ながら各システムに管理番号で呼び出してデータやステータスを入力する	バーコード印刷 バーコードには社内管理番号と許可承認番号の情報をセット	紙で行われている現場作業のステータス管理等に利用できる。イメージは宅急便のステータス管理等のような業務の省力化	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-284	通関	なし	別送品輸入申告	なし（マニュアル申告のみ）	ペーパーレス時代から取り残されている申告業務。継続検討案件（R02-058）は出ている。スマート税関構想2020の実現を通関業者の立場から全面協力。	適正かつ更に迅速な別送品輸入通関の実現。税金納付のキャッシュレス化、検査指定票による保税運送、窓口申告なしによるコロナ対策、個人情報保護。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-286	通関	リアルタイム口座明細	リアルタイム口座振替通知情報	決められた端末から出力	IDCを送信した端末に出力	リモートワーク等で会社の1端末に情報が出力してしまう為、そのためだけに出勤する人員を確保しなければならない	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-287	通関	リアルタイム口座明細	リアルタイム口座振替通知情報	決められた端末から出力	IDCを送信した端末に出力	リモートワーク等で会社の1端末に情報が出力してしまう為、そのためだけに出勤する人員を確保しなければならない	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-288	通関	管理資料	月1回配信される管理資料情報を自動的に取り出せるようにしてほしい	現在、管理資料情報の配信時期を見計らい手動で取り出している。もし、月1回の配信を取り洩れた場合、管理資料は消えてしまいます。	配信された管理資料情報が有れば、事前に設定したNACCS端末にポップアップ通知など自動的に取り出せるような設定項目を追加してほしい。	必要な情報の定期取り出し業務が不要となり取り出し忘れもなくなる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-289	通関	管理資料の申告一覧データ	CSVファイルで発行されるが、仕入書番号に（カンマ）が含まれていても、表にずれが生じないような仕様にしてほしい。	管理資料の申告一覧データにおいて、仕入書番号に、（カンマ）が含まれていた場合、表にずれが生じます。	CSVファイルで発行されるが、仕入書番号に（カンマ）が含まれていても、表にずれが生じないような仕様にしてほしい。	仕入書番号に（カンマ）が含まれていても、表にずれが生じなくなる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-291	その他	現行なし	職権で行う見本採取にかかる業務の新設	食品衛生法等の他法令にかかる官庁の公務員が見本採取を行う場合は、公務員が「見本採取表」作成し、税関が確認印を押印することになっているが、実態は、他官庁が、見本採取後、事務所に帰った後に「見本採取表」作成し、通関業者等が税関の確認印を押印してもらい、見本を採取した蔵置場に渡すとともに、1部を検査所に返付している。 北海道内の食品手続きは、小樽検査所で行っているが、主に冷凍冷蔵庫の多い、札幌、石狩での見本採取が多い。 （札幌から小樽検査所へ行って「見本採取表」を受け取り、札幌、石狩の税関で確認印を受け、再度、検査所に返付することは、非常に時間を要する。）	見本採取表（収去表を含む）は、検査所が、NACCSで採取後発行し、関係先（税関、蔵置場、通関業者）にその通知を行う新規業務を作成して欲しい。 （検査所が見本を採取した際に、発行する取扱いであるならば、事前通知（検査所）→採取通知（確定した数量等の通知）の処理を行うことで可能と思われる。	NACCSで処理することにより、移動時間がなくなり、効率化が図られる。 （札幌-小樽間は、片道 自動車約1時間、電車を利用して、ほぼ同程度の時間が必要である）	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-294	通関	全業務	航空・海上のシステム識別を選択する必要がある。	IDC・CCAの際、航空・海上のシステム識別を選択する必要がある。カーソルの位置を移動する必要があり、不便です。航空・海上のシステム識別の選択が必要ない業務も多数あると考えます。	航空・海上の両方の取扱いがあるが、IDCであれば、申告番号から航空・海上の判断ができるので、IDCの際にシステム識別の選択が無くても申告できるようにしてほしい。	システム識別が無くれば、都度選択する煩わしさがなくなり、スムーズに申告ができる。	第7次NACCS更改において対応可否を検討

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-295	通関		輸入許可後の訂正	現在、修正申告及び更正請求以外での輸入申告の輸入許可後の訂正については、申告税関に出向いて行っております。具体的にはプリントアウトした輸入許可書に赤書き訂正及び押印をしてもらい、許可書を返却してもらっています。遠隔地で申告を行った場合、税関へ出向くのは困難なため、この業務についてもNACCSで対応できるようシステムを作ってもらえないでしょうか。			第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-296	通関		特例輸入で引取申告後の納税申告で変更が発生した際、現状マニュアル申告している。特例申告の期限内訂正（修正、更正 延納支払い）のシステム化を希望する。	現在、納税申告時に変更がないよう慎重に申告しているが発生する場合がある。現状システム化されていないので、マニュアル申告書を作成、税関窓口に提出している。	第6次NACCSからシステム化された修正申告事項登録（AMA）や関税等更正請求事項登録（KKA）と同じように、NACCSで修正し、変更可能にシステム化してほしい。	直接税関の窓口に行く手間が省けるので効率化が図れる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-300	通関		IDA、EDA時の申告先税関の初期表示について、現行より細かく設定できる仕様の追加	「認定通関業者用申告官署調査票」により、弊社弊所においては全て特定の官署が初期表示される設定としておりますが、一部の蔵置官署に蔵置される貨物のうち、一部の輸出入者に係る輸入申告及び輸出申告について、輸出入者からの要望等により蔵置官署へ申告する必要あり、都度IDA、EDAにおいて申告先税関を変更しております。	申告先税関の初期表示について、NSS等で利用者コード別、蔵置官署コード別、輸出申告・輸入申告別、輸出入者別に随時設定、変更できるような仕様変更お願い致します。	IDA、EDAでの都度の変更が不要となり、業務効率の向上（申告までの時間短縮）及び輸出入者の要望等に対して間違いの発生しにくい状況になると思慮いたします。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-301	通関		BP申告の際に、担保番号が入っているとき、紙出力にも表示されて欲しい	担保番号が入っていても、紙出力には表示されていない。	紙出力における通関審査の際、番号が入っておらず、訂正になった。正しい審査をする上では、画面を見なくてはならないので、紙出力した結果にも反映して欲しい。	左に同じ	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-302	通関		輸入予備申告における蔵置場欄の入力につきまして	輸入予備申告におきましては蔵置場を「蔵置場」欄に入力を行います。予備申告後に諸事情で当初予定蔵置場が別の蔵置場にてナックスで搬入登録がされた場合は、輸入予備申告は搬入先の不一致で許可にならないと認識しております。（認識違いでしたらお知らせください）  許可にならない場合はこの場合は蔵置場を訂正する申告となりますので、税関へ連絡し申告の訂正を行うこととなり時間を要することになります。  蔵置場が訂正となる諸事情は、おおよそ口頭確認での搬入先の事前確認となりますので、こちらの聞き間違いや相手の言い間違いが発生した、いつもの場所であったがたまたま今回は別の蔵置場となりその事前の確認を怠っていた、予備申告後に搬入先が蔵置場の事情で変更となったなどがあるかと思っております。急ぐ貨物であるので予備申告を行っておりますので、蔵置場の相違のため申告許可が止まってしまつては予想外の損失を申告を行った通関業者（通関士）が被ることがあります。	そこで 予備申告の場合は蔵置場についてはIDA画面において、予備申告の場合の何らかのコードを設定し、蔵置場等のナックスコードは空白で送信できるようにし、予備申告を實際行い、税関の処理が済み、搬入先がナックスで搬入登録を行ったあと、その搬入先ナックスコードを予備申告の蔵置場へ情報を反映させて許可となるという流れにシステムを変更することができればと思ひ要望としてメールいたします。実現性の可否につきましてお知らせいただけたらと思ひます。		関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-304	通関		管理資料データの中に、通関士識別コードを取り込めるようにしていただきたい。	資料データの中に通関士識別コードが確認出来るようなデータが無い。	管理資料データの中に、通関士識別コードを取り込めるようにしていただきたい。	管理資料等などで、審査を担当した通関士を把握することが出来るれば、正しい申告のあり方に繋がると思ひます。	第7次NACCS更改において対応可否を検討



項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-310	海上入出港	IDC	海上輸入通関の予備申告から本申告切り替え時のLCL「マーク」「荷姿」を自動取り込みへの要望	現在は、入港日情報は貨物搬入時に自動で引用入力されるが、LCLの「マーク」と「荷姿」は、仮入力が無いと予備申告ができなく、予備申告後本申告時、実際の搬入情報に基づき、手入力・修正が必要となっている。	LCLの「マーク」と「荷姿」をブランクで予備申告がかけられるようにしたい。	搬入情報が自動で入力されることにより、誤入力を防ぐだけでなく、LCLにおける「z予備申告」が可能となる。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-314	海上入出港	VPX	VPX繰返部の貨物情報、危険物情報のレイアウト変更	Excelシートから貼り付けることが出来ず項目毎に手入力が必要だが、種類が多い場合は入りに時間が掛かるためシステム登録せずマニュアル提出している。但しこちらは基本的にはマニュアル申請は行わずNACCSにて申請を行っている。	本船からExcelファイルで入手するも一括で貼り付けることが出来ず、ほぼ手入力となっている。VTX02、VTX03同様に繰返し部をExcelシートから貼り付けることが可能なレイアウトに変更頂きたい。	客船が所持している医療用麻薬が多種類有り、Excelシートから一括貼り付けできないため入りに時間が掛かるので殆どの場合にマニュアルで提出している。しかしながら税関側からは極力システム登録するよう要望があり極力協力したいため。  WebNACCSではExcelシートをアップロードすることで貼り付けられるが、NetNACCSでもExcelシートから直接貼り付けられるようレイアウト変更をお願いしたい。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R03-315	海上入出港	VPX	VPXを訂正する際、訂正前に当港および他港で訂正した乗組員情報を入管に送付されるような仕様にして欲しい。	当港でVPXを提出後、前港で乗組員情報が更新された後、当港でVPXを訂正した際、更新された乗組員情報は入管に送信されないため、一度VPXを取り消して再度提出しなければならない。	VPXの訂正をする際は、その時点での乗組員情報（乗客情報）が入管にも送信されるような仕様にして欲しい。	乗組員情報が更新されたことを入管が把握できる。代理店側も取り消す必要が無くなる。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R03-316	海上入出港	VPX	VPX提出の際、（乗員上陸許可申請をしない場合などに入管が発行する）告知書発行依頼を同じ画面で出来るような仕様にして欲しい。	電話で入管に依頼している。若しくは入管から電話で告知書を発行する旨、連絡がある。	VPXの入力画面にチェックを入れるなどの方法で、告知書発行希望（依頼）である旨を通知できるようにする。	NACCSの処理とは別に電話対応をしなくてはならないため。実現すれば、双方とも業務を簡略化できる。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R03-317	海上入出港	VPX等	税関、入管への届出の受理確認の追加	税関、入管への許可、承認申請に関しては許可、承認通知が出力されるが届出はパッケージソフトの場合、受理等の確認が出力されない。	税関、入管への届出の際も各官署のシステムが受信したことを何らかの形で送信者にフィードバックして欲しい。	netNACCSでVPXを送信したが官庁側が受信していないとのことで揉めたことが有る。申請者側は送受信履歴を削除していたため送信したことの証拠を提示できなかったため、受信（若しくは受理）したことをシステムで返して頂きたい。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R03-318	海上入出港	VTX04	VTX04繰返部のレイアウト変更	Excelシートから貼り付けることが出来ず項目毎に手入力が必要だが、種類が多い場合は入りに時間が掛かるためシステム登録せずマニュアル提出している。	本船からExcelファイルで入手するも一括で貼り付けることが出来ず、ほぼ手入力となっている。VTX02、VTX03同様に繰返し部をExcelシートから貼り付けることが可能なレイアウトに変更頂きたい。	客船が所持している医療用麻薬が多種類有り、Excelシートから一括貼り付けできないため入りに時間が掛かるので殆どの場合にマニュアルで提出している。しかしながら税関側からは極力システム登録するよう要望があり極力協力したいため。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-319	海上入出港	WOO全業務	WEB NACCSの頁切替のスピードアップ	WEB NACCSを夜間に使うと頁の切替が遅いことが多々ある	特に土日祝祭日の夜間にスピードが激減することがある	業務効率の向上	検討対象外（プログラムに関する案件以外の要望等）
R03-320	海上入出港	WED	複数ファイルの一括アップロード対応	WUDにてファイルをアップロードする際に1作業に1ファイルしかアップロードできないためアップロードファイルの数だけ同じ作業を繰り返さなければならない。	1作業で複数ファイルをアップロードできるようにして頂きたい。	10件のファイルをアップロードする際に1ファイル毎に作業を繰り返さなければならないため手間と時間が掛かる。1作業で10ファイル程度を一括でアップロードできるように変更頂きたい。	関係省庁案件のため要望を傳達しました
R03-322	海上入出港	WPT	入港前統一申請訂正時の仮登録機能の仕様変更	【入港前統一申請の訂正の際】多数の官庁に向け一括で訂正申請を行うために「仮登録」という一時的な文書の保存機能がある。しかし、あくまでも一時的な文書の保存である為、何らかの理由で訂正画面から離れた場合、全ての仮登録済みの申請が破棄されてしまう。	「仮登録」の仕様を、新規登録の際と同じような「一時保存」と同じ仕様にして欲しい。	①入港前統一申請は何度も更新・追加が行われる申請である事 ②WebNaccsはNet.Naccsよりもエラーが起きやすい事 上記2点より、関係官庁へ訂正申請を作成中にWebNACCSエラーが発生すると全ての仮登録済文書が破棄される。その為、エラーが続く程、誤入力の危険性・申請内容の精度低下が懸念される。仕様変更が行われれば、上記の問題点が解消される。	関係省庁案件のため要望を傳達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-323	海上入出港	WST	コールサイン入力に伴う“船舶呼出”ボタンを作成してほしい	必要事項を全てベタ打ちしている	係留許可申請(WPT)や入出港届(WIT)であるように“船舶呼出”ボタンがあると良い	コールサインの入力ミスが減らせる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-324	海上入出港	WUD	WUDのアップロードファイル名	WUDに危険物のデータをUPLOADすると、UPLOADしたファイル名とUPLOAD名が出てくるが、いざ、入港前統一申請(WPT)にアップロード情報を使用しようとする、UPLOAD名だけで分かりにくい。	どの船の危険物の情報かすぐにUPLOAD名にも船舶の信号符字(CALL SIGN)と日時を入れて欲しい。 例：UP-JDXXXX(CALL SIGN)-20210520100000	WUDで危険物の登録をしても、そこにCALL SIGNがないためUPLOAD情報を開けても限定できない。いちいちUPLOAD名を控えて紐づけしなければならないため、手間。複数あった場合は、すごく大変。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-325	航空入出港	CLP01	旅客便で到着する乗員への上陸申請も(Shore Pass発行)をOnlineで出来るようにする。	貨物便での到着者のみOnline申請可。旅客便(他社)到着者がいる場合、事前にエージェントが入管まで出向き手書き申請、手書きshore passを発行	コロナの影響でshore pass申請する乗員数が多く、審査官に押印してもらわないといけないなど手続きに時間を要している。ここだけが現在使用している業務でonline化されていない。いつまでコロナの影響が残るかわからないが、officeより事前に申請出来るようにしてほしい。		関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-327	航空入出港	GIA01/GIR01		マニュアル入力	同じ便でのGIA/GIR送信をするにあたり、機番や航空機種別等同じでなければならない項目が異なっていた場合に、ワーニングが出力される仕様に変更を希望。	誤入力防止、作業の効率化	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-328	航空入出港	GIA01/GIR01/GOR01		マニュアル入力	FISとNACCSアプリを連動させ、便情報、日付、機番、スポット情報、出発、到着時刻、区間を自動取り込みできるようにシステムの変更を希望。CREW情報は自動取り込みがされているため連動は可能かと考える。 また、FISと連動できるのであれば、ブロックインの有無をNACCS上で判断し、GORが取得できるか否かをシステムが判断(エラーコーション表示等)するようになるとうい。	誤入力防止、作業の効率化	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-330	航空入出港	GOR01		前便の入港届を目視で確認	GORに機番を入力した時点でその便の入港届が出ていなければ赤字になるなど強調される仕組みに変更を希望。(入港届は出ているが、出港届が出ていない便のみが黒字になるなど)	作業効率化、ミス防止	システムの改修規模が大きい(改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等)ため対応が困難
R03-333	その他	ACL01	VAE業務の情報をACL業務 CLPへ反映	VAE業務でVAN情報を入力し更に同じ情報をACL業務でCLPを入力している。	VAE情報をACL業務のCLPへ反映してほしい。	現行の半分の時間で済む。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-334	その他	ACL01	ACLの禁止文字の削減	アンダーバーや中黒など入力できない文字があり、ACL送信後に船社やヤードへ訂正依頼を出す必要がある	アンダーバーや中黒を使用可能にしてほしい	船社やヤードへの訂正連絡に時間を割く必要がなくなり業務の効率化を図れる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-336	その他	ACL01	DISCRIPTION, SHIPPING MARK欄の改行を可能に	改行ができないため、次の行までスペースを入力して対応している	改行できるようにしてほしい	業務の効率化を図れる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-337	その他	ACL01	出力コードSAT1401・SAT1511のレイアウト変更	繰返部1ページ目にコンテナ2本分の明細が記載されるが、残りのコンテナ明細は3ページ目に記載されている。	同じ繰返部の中の情報なので、2ページ目と3ページ目にするか3ページ目に纏める等、見易くしてほしい。	チェック等をし易くするため。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-338	その他	ACL01	品名欄の追加	品名欄が、10欄となっている。	品名欄を10欄より40欄に増やしてほしい。	10欄を超えた場合に船社にアタッチしてメールかFAXを行わなければならないので手間が掛る。	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-339	その他	ACL01	改行を可能にしてほしい。 また_(アンダーバー)など使用不可の文字の使用を可能にほしい	改行できないためスペースを入力 「_」を含むメールアドレスはアタッチシートにて対応	改行を可能にしてほしい。また_(アンダーバー)など使用不可の文字の使用を可能にほしい	入力負担の軽減 昨今需要が増えているメールアドレス記載に対応するため	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-340	その他	ACL01 ACL02	ACL送信時にアタッチシート等の資料添付ボタンの設置	船会社ごとにメールやFAXで送信している。	ACL送信時にアタッチシートや資料を添付できるようにしてほしい	船会社・代理店へACL送信と同時に必要書類を送信することができる。	第7次NACCS更改において対応可否を検討

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-342	その他	CFH	食品等輸入届出双方向履歴照会（CFH）は食品取得後も閲覧可能にしてほしい	*事業者側からは現状3週間くらいで見られなくなる	*3年を超える期間でやり取りを閲覧可能として欲しい	*過去のやり取りを印刷等し、データで保存しておく必要がなくなる。 *過去のやり取りが見られることで担当者が居なくても経緯を確認できる。（検査所側は見られるようである）	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-343	その他	CFH MSF01	送信内容の項目を作って（細分化して）欲しい	・CFHで連絡書が来た場合に業者側から返信する場合は、何に関する回答かが分からないため、返答を急ぐもの（モニタリング受検に関する回答・届出の訂正 等）はFAXが必要となっている ・MSF01は何に対する添付書類かが分からないため、急ぐものはカウンター提出やFAXが必要（成績書等）	*CFHの場合 ・連絡内容をプルダウンかラジオボタンで、送信内容を選択することにより、検査所側が何に対する回答かを開く前に判別する事が出来、処理の振り分けが出来るようになる。 （例：モニタリングについて、届出内容について、添付書類について、その他、等々） *MSF01の場合 ・添付したものが一覧で表示され、2回目以降は以前添付したものが一覧になり、削除するものはチェックボックスにチェックする、追加だけの場合は過去に添付したのもそのまま残る ・提出物が何なのかが分かるようにプルダウンかラジオボタンで添付書類の内容を選択することにより、添付書類が成績書である事が分かり、カウンター提出が不要となる （例：成績書（新規・事前審査済み）、初回添付書類、訂正・差替え書類、その他 等々）	現状、人手不足や送信項目が分からないことにより、紙（FAX）で求められているものも、NACCS上で添付や連絡内容が分かれば、検査所側の審査もしやすくなり、ペーパーレスにつながる	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-344	その他	GHJ	システム仕様の変更	仕分け前の個数、重量が仕分け後の入力の合計と一致しなくてもデータが通ってしまう	仕分け前の数量と仕分け後の数量の合計が一致しない場合はエラーとなり仕分け情報が通らないようにしていただきたい	誤入力でも通ってしまい、誤った数量のまま通関が行われる可能性が防げる	他の利用者様の運用に大きな影響を与えるため対応は困難
R03-347	その他	EMC	動物検疫関連業務についても、NACCSで申請した場合管理資料情報の配信を要望します。	食品等輸入届出一覧データ（I58）で毎月の届出件数を確認していますが、動物検疫関連業務（輸出）においては管理資料ないため、NACCSを利用して申請手続きは行っているが、毎月申請件数の確認ができません。	管理資料に輸出畜産物関連業務を追加して頂きたい。	NACCS上で申請件数の確認ができるので、申請件数の把握するための事務負担が軽減できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-349	その他	IAS, IAS01, HKA, HKB	業務をWeb化してほしい	Web化が必須となっている	現行中で実施してほしい		第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-350	その他	ICG	DORの通知先確認	ICGでDORの通知先の確認が出来ない	DORが誤った通知先で送信されていてもICGで確認出来ない	DOR送信をした人しか通知先が確認出来ないため、正しく送信されているのか誤って送信しているのか他の人には分からないため不便である	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-354	その他	ICN	コンテナ情報照会にBL番号を反映	表示欄無し	HBLでは搬入確認番号の記載がない場合があるのでコンテナ情報にMBLが表示されると好ましい	MBLが判明しないと輸入通関前の他法令の申請などの業務が進められず、業務が滞ってしまう	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-355	その他	IDA, EDA	エラーメッセージを分かりやすくして欲しい。	わかりづらい。	具体的に詳細に記載して欲しい。	ナックスセンターへの問い合わせ回数が減る。	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-357	その他	IDC	リアルタイム口座の通知情報について	現在の運用がEXC型という種類の電文らしく、申告者にかかわらず蓄積電文を取りに行った人の端末に出力されるようになっており、誰が取得したかわからなくなってしまい、見つけられないこともあった	許可書が出てくるタイミングで申告者の端末に出力されるよう改善していただきたいです。通関担当のみならず、保税担当者が間違えて取得してしまう事もあり大変不便です。CCA業務を行っているのですべての端末に同様の改善は望めないかもしれませんが、少なくとも通関士コードでIDC申告したものについては各自の端末に出力されるようにしてほしいです		第7次NACCS更改において対応可否を検討

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-358	その他	IFA	製造者・所の住所欄の字数（桁数）が少ないので増やしてほしい	*現行：90桁	110桁	*英語表記の住所は長いので、現行の桁数に収まらないことがある *備考欄への入力が増減できる 検疫所も審査時、2か所確認する必要がない	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-359	その他	IFA	備考欄の行数を増やして欲しい	*現行：296桁	下記を「遺伝子組み換え」や「紙書類の有無」のように、別枠の増設 ・ポジティブリスト適合を別枠で「Y」を適合とする（添付書類の欄のように） ・香料は日本の基準に適合を別枠で「Y」を適合とする ・NO RADIOを別枠で「Y」をNO RADIO とする ・用途コードに「業務用」のコードを追加し、用途：その他での備考への入力を削減 ・記事欄の増設（通関にもあるように、検疫所の審査とは関係ないが社内整理番号等が入力できる欄） （桁数というより、簡易入力・別枠ができれば足りるかも）	*通知などが増えると、入力事項が増え、文字数を範囲内に収めるために、苦慮する事がある	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-360	その他	IFA	食品申請の共通管理番号の紐づけ	現在は、共通管理番号は、9申請までしか紐づけできない仕様となっている	食品申請をするときに、共通管理番号との紐づけが9申請までしかできない。9申請を超えるとMSXでの対応となり、紐づけできる申請数をふやしてほしい	税関職員も食品申請の完了をNACCSのみで確認できる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-361	その他	IFA	食品申請の入力アイテム数	現在は、1申請で7itemしか入力できない仕様となっている	食品申請では、基本1itemで1欄を使用する。8itemの輸入となれば、2申請になってしまう。他の他法令の植物・動物検疫では、1申請で20itemの入力できる仕様となっている	食品監視課の審査効率や1BLで複数申請が回避できる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-362	その他	IFA	ポジティブリスト欄追加	備考欄に手入力	樹脂製の容器器具のポジティブリスト制度が20年6月から施行されたことで、ポジティブリスト適合・経過措置対象と手入力する必要があるが、チェックボックスなどで簡素化希望 非対応の商品については未入力でもOKな仕様希望	入力の簡素化	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-363	その他	IFA	備考欄の行を増やしてほしい。	備考欄の行が少ない。	備考欄の行を増やしてほしい。	備考欄記載事項が多いにもかかわらず、行が不足している。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-364	その他	IFA	実績番号を入力すれば、事項登録内容をコピーして欲しい。	実績番号入力するのみ。	事項登録内容の手間が省ける	間違いが少なくてすむ。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-365	その他	IFA IFD	食品届出・繰返部の原材料と添加物のカーソル移動を変更してほしい	*原材料1→添加物1→原材料2→添加物2・・・と原材料と添加物を交互にカーソルが移動する	*原材料1→原材料2→原材料3・・・ 添加物1→添加物2→添加物3・・・という動きにして欲しい	*原材料と添加物を交互に入力する事はほぼ無いので、現状の動きだとTABやENTERキーかマウスでカーソルを移動しなければいけないため、1アクション無駄になる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-366	その他	IFC	届出可能時間の拡大（24時間）	8:30～17:00のみ届出可能	届出（IFC）の届出可能時間を拡大して欲しい *動検・植検・通関（予備申告）は24時間可能	17:00に間に合わない場合、翌日提出したい書類がある場合は、受理時間に間に合わせるため、翌朝早く来て届出・書類のセットをする必要がある 審査時間（受理時間）と届出可能時間は別物と考えてもらえれば、届出が出来ても問題は無いと思う	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-367	その他	IFC	簡易審査のものでも事前届の場合は、済証を返却しないで欲しい	簡易審査の場合、事前届でも届出と同時に済証が発行される	事前届の場合でも、IFGを行わないと済証は発行されないようにして欲しい *税関の区分「1」のように、簡易審査でも予備申告の場合は、許可書が出ないような仕組みにして欲しい	搬入後に変更箇所があっても訂正ができないため、届出を取下げ、再度届出する必要があり、業者側・検疫所側 両方の負担となる	関係省庁案件のため要望を伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-368	その他	IIF	他営業所で実施した食品届出の届出情報の照会ができる様にして欲しい。	他営業所で実施した食品届出の照会は同一通関業者であっても照会する事ができない。	他営業所で実施した食品届出の照会が同一会社（通関業者）であれば照会できる様にして欲しい。	他営業所での届出は実績として継続案件となり日本全国のどの検疫所にも「継続」として届出が可能。その継続の内容はせめて同一会社であれば照会可能として欲しい。IIFで開いた画面の繰り返し部の「行のコピー」を取って、当該届出の繰り返し部に貼り付けたい為。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-369	その他	ILC	動物検疫関連業務についても、NACCSで申請した場合管理資料情報の配信を要望します。	食品等輸入届一覧データ（I58）で毎月の届出件数を確認していますが、動物検疫関連業務（輸入）においては管理資料ないため、NACCSを利用して申請手続きは行っているが、毎月申請件数の確認ができません。	管理資料情報に輸入畜産物関連業務を追加して頂きたい。	NACCS上で申請件数の確認ができるので、申請件数の把握するための事務負担が軽減できる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-370	その他	IVK	一つの船社に一つのコールサインしか表示されないようにしてほしい。	同一船社で二つのコールサインが表示されることがあり、許可後に変更依頼されることがある。	同一船名、同一船社の場合は、コールサインの登録は一つしかできないようにする。	許可後の変更の手間がなくなる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-371	その他	MSF01	MSF01の書類添付の内容まで履歴で見れるようにしてほしい	*1度添付し、新しいものを添付する場合は一旦削除し新しいものを添付するが、送信履歴以外で履歴をたどる事は出来ない	*MFS添付書類の履歴をたどれるようにしてほしい（CFHIは可能）	IIFでも添付が有るのか無いのか分からない。そのため、何度か差し替え等があった場合などで時間が経った場合に最新の添付内容が見たいとなった時に不便を感じたため	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-372	その他	MSF01	NACCSでの書類送付を複数回出来る仕様に変更していただきたい。（届出番号で呼び出して、追加での書類送付が可能な仕様に変更していただきたい。）	FAINS(NACCS)で届出をした後、MSF業務を利用して届出に係る書類を添付ファイルにて送信できる仕様になっているが、この業務では追加で書類をお添付・送信することが出来ない。追加書類が生じた際は、先に送信していた書類を一旦全削除し、全ての書類を送信し直さなくてはならず非効率的であるため。	・日度添付したものを削除せずに、どんどん追加で添付できるようにする ・届付⇒削除⇒添付・・・ではなく、添付は何回でも出来、一覧から不要なものは削除できるように	・削除する手間・再添付する手間が省ける ・時系列で見られると、どれを最後に提出したものが確認できる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-373	その他	MSF01	食品申請のMSF01ファイルの容量の増量	現在は、5MBである	原則、試験成績書の検体写真は、カラーでの対応。画質を落とすと「不鮮明である」と連絡が入り、窓口へ提出しなければならない	現在、通関業務は最大容量が10MBである。容量が増えることで業務の効率化に繋がる	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-374	その他	OLC	搬入時申告「I」で送信したら、「入港日」を搬入時のICGデータを自動で反映するようにしてほしい。	搬入時申告「I」で送信したら、「入港日」がOLC送信時のICGデータ反映され、搬入時に自動でOLC送信時のICGデータのまま申告される。		まだ先の入港日のものも搬入時自動申告であらかじめ送信しておきたいが、当初のICGデータから入港日に変更になることが多く、搬入時自動申告では最新のICGデータが反映されないのでは利用しにくい。また古いデータのまま承認されてしまい、税関に訂正の依頼をする事もある。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-381	その他	新規	税関に申請する減却のシステム化	到着地税関ごとに減却申請書を紙で提出している。	SEA-NACCS に登録して申請可能にして欲しい。	直接税関へ出向く手間が省ける。税関の運用次第では日々の効率化がかなり見込める為。	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-383	その他	不明		なし	デジタル証明書（ワクチン接種記録、陰性証明書など）の導入に向け、航空会社から送信しているAPI、PNRをCIQでご連携いただき、ワクチン接種記録や陰性証明書といった健康情報も含め、「渡航可否」を判定いただいた上で、航空会社搭乗系システムへ返却する仕組みが構築できないか。		関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-384	その他	不明		北米-NGO-NRTや、RGN-OKA-NRTといった、国内線区間も含む国際線運航を実施しているが、現行NACCS仕様では、国内線区間のPNR受信ができないため、事前送信を免除いただいている	国内線区間のPNR送信についても受信できる仕様へ変更希望		関係省庁案件のため要望を伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-385	その他	連絡書	検疫所からの連絡書の連絡内容の文字数を増やして欲しい	*現行：296桁	600桁	連絡内容が多い場合、1回の連絡書に収まりきらず、用紙の1/4程度しか印字されていないにも関わらず、何枚にも渡って連絡書が来ることがある。 文字数が限られているため、連絡内容の意図する事が分からない時がある。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-386	その他	連絡書 (検疫所側)	連絡書に担当官の名前を入れて欲しい	旧NACCSでは、連絡書に担当官の名前も印字されていたが、7次になってから印字されなくなった	*連絡書：担当官名を印字して欲しい (担当官を知りたい場合はIIFを確認する必要がある)	*連絡書：連絡書が来た後にNACCSで担当官を確認する手間が省ける	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-390	その他		入出力装置設置届を汎用申請を用いた届出が出来るようにしていただきたい	届出書原本を所定の用紙を検疫所のカウンターに提出 設置届を提出後、食品の輸入届出を行えるまでに数日を要する	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）入出力装置設置届出書の必要事項をNACCSにて入力し、届出を行う ・届出者（輸入者）の記載した同意書等が必要な場合は、NACCS添付送信する ・登録が完了したらNACCSを通じて通知（返却）される ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	関係省庁案件のため要望を伝達しました
R03-391	その他		確認願をNACCSで出来るようにして欲しい。	所定の用紙を検疫所のカウンターに提出	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）確認願をNACCSを通じて申請、検疫所の確認の後、NACCSを通じて返却される ・必要に応じて共通管理番号等を取得し、通関の申告と連携を可能にする ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-392	その他		品目登録をNACCSで出来るようにして欲しい。	所定の用紙を検疫所のカウンターに提出	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）品目登録をNACCSを通じて申請・NACCSで添付書類を添付送信する ・質問事項・連絡等はNACCSを通じてやり取り ・登録が完了したらNACCSを通じて登録内容の返却と登録番号が付与される ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-393	その他		事前相談をNACCSで出来るようにして欲しい。	事前相談票をFAX送付	方法①税関の汎用申請（HYS）のようなもので、書類添付する 方法②（こちらを希望）事前相談をNACCSを通じて申請・NACCSで添付書類を添付送信する ・質問事項・連絡等はNACCSを通じてやり取り ・登録が完了したらNACCSを通じて登録内容の返却と登録番号が付与される ・検疫所が入力する情報をNACCSで入力し届出をし、検疫所が承認行為を行うものと思われるので、必要な入力情報は厚労省で決めて頂くべきものかと思慮する	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	関係省庁案件のため要望を伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-394	その他		見本採取票（収去証）	未だに原本扱いのため、非常に手間がかかっておりNACCSのシステムに組み込んでいただきたい	・見本採取票・収去票をNACCSを通じて交付 ・食品届と連携し、一元管理できるようにする ・NACCSを通じて外貨の場合は税関と倉庫とも連携	*押印不要となったため *用紙を提出・回収・確認しに検疫所へ出向く必要がなくなる *届出内容の不備や記入漏れがなくなる *ペーパーレスにつながり、進捗状況も確認できる *受け取った受け取ってない、言った言わないの齟齬を回避	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-395	その他		検査貨物をヤードから搬出する手続きのシステム化	ヤードから検査指定票に印鑑を受領し搬出している	搬出手続きをシステム化してほしい	業務の効率化を図れる	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-397	その他		危険物事前連絡表送信	オリジナルに証紙を貼り、港湾災害防止協会に持込み、手続きをしている。	NACCSで危険品事前連絡表の送信・証紙代の引き落としができるようにして欲しい。	持込時間等を勘案せず、緊急の危険品案件に対応できるようになる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-398	その他		危険物明細書の送信	現在、メールまたはオリジナル書類の提出で対応している。	各ターミナル・船会社に危険物明細書をNACCSで送付できるようにして欲しい。	ペーパーレス促進の為。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なし
R03-401	その他		2行以上ある入力欄で改行ができない。	2行以上ある入力欄で改行ができない。	2行以上ある入力欄で改行ができない。	スペースで入力しなければならず、入力効率が悪い。	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-402	その他		荷主リアルタイム口座利用のための条件緩和（JASTPROの登録に関係なく、誰でもリアルタイム口座の登録ができるようにしていただきたい）	JASTPROに登録している（輸出入者符号をもっている）輸入者だけが、荷主リアルタイム口座を申請できる。	JASTPRO登録の有無に関係なく、荷主リアルタイム口座の申請・利用を可能にしてほしい。	法人番号で申告ができるようになったことから、JASTPROへの登録に必要性を感じていない荷主が多いこと。関税の徴収は、全輸入者を対象としていることから、納付方法についても条件を付けることなく、全輸入者が申請・利用できるよう、開かれたものにしていただきたい。また、納税義務者は輸入者であるにもかかわらず、慣例的に通関業者が立替えていることについて、通関業者の負担とリスクが問題視されており、輸入者へ荷主リアルタイム口座への切り替えを自主的にお願いしているが、JASTPROへの登録が障壁となり、結局通関業者が立替えざるを得ず、状況が好転しない。荷主リアルタイム口座の利用が促進されることは、輸入者が納税義務者であるということの自覚を促すとともに、適正な申告に対する意識向上につながるものと考えます。	他の機能や業務により対応可能（予定）であるもの（新たなプログラム変更は不要）
R03-403	その他		NACCSの仕出人・仕出人の住所の区切りをなくす	NACCSに入力する際の仕出人・仕出人の住所の区切り（市・区など）をなくして頂きたい	NACCSに入力した際、住所の区切りの間違いを見える場合がある為	NACCS仕様の改善	システムの改修規模が大きい（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）ため対応が困難
R03-404	その他		CFS輸入貨物の予備申告時のケースマークの扱い変更	CFS輸入貨物の予備申告を行った際は、倉庫搬入時に入力された記号・マークが上書きされる様にして頂きたい	記号・マークの細かな内容の相違により、予備申請後・本申告前に記号・マーク訂正が発生する場合がある為	NACCSの利便性向上として、倉庫搬入時に入力された記号・マークが上書きされるようにプログラム変更することが可能かどうかを検討	第7次NACCS更改において対応可否を検討
R03-405	その他		確認願いのシステム化	確認願いを提出	見本持出申請のようにNACCS画面へ直接入力し審査いただく（紙提出を省略）	食品衛生法非該当である届出となるため、現在用紙を提出し対応することで時間省略出来る。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-406	その他		厚生労働省からの連絡書について	複数の連絡がある場合、2行ほどしか連絡事項が表示されない。	厚生労働省からの連絡書を1申告1枚で表示されるようにしてほしい	連絡事項が見やすく、用紙の節約になる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-408	その他		厚労省に申請する食品確認願のシステム化	厚労省に申請する原本を紙で提出→厚労省の書類審査→押印にて返却	NACCSで申請可能とするようにしてほしい	直接窓口に出向く必要がなくなり、日々の業務の効率化を図れる。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-409	その他		確認願いのシステム化	確認願いを提出	見本持出申請のようにNACCS画面へ直接入力し審査いただく（紙提出を省略）	食品衛生法非該当である届出となるため、現在用紙を提出し対応することで時間省略出来る。	過去に同様の要望を検討した状況から変化なしですが、関係省庁案件のため今回も要望は伝達しました
R03-412	その他		NACCS管理帳票として、「見本持出」「植物検疫」などの一覧データも配信を希望する	輸出・輸入の申告一覧データは管理資料配信されるが「見本持出」などは一覧データが無い	件数表示だけでなく、「見本持出」等の一覧データを管理資料として配信してほしい。	通関業明細簿作成などへのデータ活用	第7次NACCS更改において対応可否を検討